

平成 21 年度 社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 事業報告

事業報告の概要■

平成 21 年度の経済状況は、景気はやや持ち直してきたものの、雇用の悪化は収まらず、職や住居を失う市民の相談が増加しました。

一方、地域社会では、少子高齢化による家族機能の減退、近隣関係の希薄化などが進み、住民がお互いに助け合い、支えあう地域社会が築きにくい状況にあります。

このような中、本会は、地域福祉市民活動計画である「第 3 次立川あいあいプラン 21」の策定に市民参画により取り組み、今後 5 年の方向性を明確にしました。また、個別活動では、平成 19 年度から 3 年間のモデル配置をした、地域福祉コーディネーターの活動が評価され、その継続と新たな地区への増配置の足がかりとすることが出来ました。その他、各係の事業も概ね事業計画どおり推進し、地域福祉の推進を着実に進めることが出来ました

以下、平成 21 年度の事業計画に掲げた重点推進事項の推進概要について報告します。

重点推進事項の推進について■

1 第3次「立川あいあいプラン21」の策定

市民参画による策定委員会は、部会を含めて 16 回開催し、活動計画と発展・強化部門を合わせて、第 3 次「立川あいあいプラン 21」を策定しました。これにより、今後 5 年間の社協活動の方向性を明確にしました。

■第 3 次「立川あいあいプラン 21」の 4 つの目標

- 「学ぶ」 目標 1 市民の主体的な学びの推進
- 「参加する」 目標 2 市民活動の推進と地域福祉への参加
- 「つながる」 目標 3 地域課題に対応する住民福祉活動の推進
- 「安心できる」 目標 4 地域における総合相談支援体制の充実

2 第2次「立川あいあいプラン21」の総括、評価

平成 21 年度は、第 2 次「立川あいあいプラン 21」の推進最終年にあたるため、目標ごとに簡潔に総括、評価を報告いたします。

○目標 1 「地域課題に対応する住民福祉活動の推進」

具体的な取り組みの 1 つに掲げた「地域福祉コーディネーター」の配置を実現できたことは、大きな成果でした。これにより、地域包括支援センターや自治会、民生委員・児童委員協議会などの関係機関と連携し、多様な地域課題に住民が参加して解決する土壌が出来てきました。

○目標 2 「ボランティア・NPO活動の推進」

ボランティア・NPO活動を推進する中心的な機関として、多様な市民が参画し、事業の企画、推進を行う「市民活動センターたちかわ」を運営しました。その結果、ボランティア・市民活動団体数の着実な増加や、行政計画における市民会議の運営などをおとした市民と行政の協働の推進、ボランティア・市民活動団体への相談や多様な支援を行うことができました。

○目標 3 「市民の主体的な学びの支援」

「都立高校の奉仕体験活動」や「小・中学校の総合学習の時間」に協力し、具体的な取り組みに掲げた「学

校教育における市民学習・福祉教育への支援」を市民参加により進めることができました。また、市民おもしろ大学の開催や地域福祉コーディネーターが地域の課題を把握した中で、その解決に資する学習会の開催などとおして、具体的な取り組みに掲げた「地域における多様な学習の場の設定」を果たしました。

○目標4「市民の権利を擁護する仕組みづくり」

「地域あんしんセンターたちかわ」を運営し、成年後見制度における「法人後見の受任」や「住宅保証人制度」を実施しました。また、基幹地域包括支援センターを立川市や関係機関と連携して運営し、地域ケア会議や高齢者虐待防止ネットワーク連絡会などの権利擁護や地域の包括的なケアの仕組みづくりに寄与しました。

○目標5「市民の生活支援のための相談体制・情報提供の充実」

伊勢丹立川店の「あいあいステーション」において、土・日曜日を含めて実施する専門相談の住民満足度は高く、また、「地域包括支援センター」が地域ケア会議などにおいて実施する「相談機関間の連携強化」については、高い評価となったが、専門相談機関間の連携や本会各部署間の連携が不十分な面もあり、課題も残りました。

*5つの目標については、概ね達成できましたが、課題も残りました。以上、第2次「立川あいあいプラン 21」の総括とします。

3 「地域福祉コーディネーターモデル配置事業」の充実

平成19年度から、立川市と連携して配置した「地域福祉コーディネーター」は、栄町・若葉町エリアの地域課題を把握し、地域包括支援センターや関係機関と連携した活動を行いました。

配置してから3年目を迎え、周知も行き届き、相談・対応件数は大幅に増加し、地域の住民課題の解決に寄与することができました。また、住民が孤立を防ぐためのサロンや健康保持、交流の場を増加することができました。

4 「市民活動センターたちかわ」の機能の充実

「市民活動センターたちかわ」は、地域福祉コーディネーターを中心とした「地域づくり」に加え、立川市第3次基本計画策定市民会議の運営や地域学習館運営協議会準備会への参画などを通して協働を推進し、中間支援組織としての機能の充実を図ることができました。

5 「地域あんしんセンターたちかわ」の発展

「地域あんしんセンターたちかわ」は、高齢化の進展などとともに判断能力の低下した市民が増加する中、日常生活自立支援事業による支援や成年後見制度の相談、普及、法人後見受任などを積極的に進めてきました。あわせて、「高齢者虐待防止ネットワーク連絡会」や「地域ケア会議」などに参加し、地域の中で、権利擁護の中心的な推進機関として発展させることができました。

6 基幹地域包括支援センターの運営による地域ケアの基盤構築

基幹地域包括支援センターは、立川市や関係機関と連携して、地域ケア会議や介護支援専門員連絡会、訪問介護事業者連絡会の開催などとおして、各種のネットワーク作りに努め、地域ケアの基盤構築を図ることができました。

7 総合的な地域ケア機能の発揮

本会は、「市民活動センターたちかわ」、「地域あんしんセンターたちかわ」、「基幹地域包括支援センター」

を一体的に運営し、それぞれが持つ機能、人材、強みを活かして、地域づくりや市民の支援を行うことができました。

8 生活安定化対策の充実

本会は、経済不況や雇用の悪化などが続く中、職や住居を失った市民や減収となった市民に対して、職業訓練への支援や住宅手当の給付、生活再建のための貸付などに総合的に取組み、市民の生活の安定に努めました。

9 地域におけるセーフティネット機能の充実と経営基盤の強化

本会は、社会福祉法人として制度の狭間にある市民の支援や法人後見、介護保険、自立支援法による事業などを行い、地域におけるセーフティネット機能を充実させました。また、事業経営にあたっては、法令遵守やコスト感覚とホスピタリティを意識して経営基盤の強化を図りました。

■一般会計事業

I 法人運営事業

法人の健全経営や、地域福祉の担い手としてふさわしい事業を確実、かつ効果的に行うために、組織運営事業ほか、以下の事業を実施しました。

■組織体制

理事 15 名、監事 2 名、顧問 1 名、評議員 31 名

事務局長 1 名、課長 1 名、【総務係】職員 5 名、月額嘱託 1 名、非常勤職員 1 名

■事業執行経費 約 40,000 千円

1. 組織運営事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)理事会の開催	■第1回理事会 ／平成21年5月15日(金) ○平成20年度事業報告および決算報告 ○平成20年度監査報告 ○評議員の選任	◆5月に、理事・評議員の一斉改選があり、新体制となりました。
	■第2回理事会 ／5月31日(日) ○正副会長の選任等役員人事 ○評議員の選任	
	■第3回理事会 ／7月1日(水) ○就業規則の一部改正 ○短期間雇用職員就業規則の一部改正 ○デイサービスセンター運営規程の一部改正 ○評議員の選任	
	■第4回理事会 ／11月18日(水) ○平成21年度一般会計補正予算 ○短期間雇用職員就業規則の一部改正 ○経理規程の一部改正 ○デイサービスセンター運営規程の一部改正 ○生活介護支援事業所運営規程の一部改正 ・平成21年度上半期事業報告 ・平成21年度上半期監査報告 ・実地検査の結果に対する対応について(生活介護) ・社協創立50周年事業について	
	■第5回理事会 ／平成21年12月15日(火) ・社協創立50周年事業について	
	■第6回理事会 ／平成22年3月17日(水) ○平成21年度一般会計補正予算 ○平成22年度事業計画および予算 ○給与規程の一部改正 ○短期間雇用職員就業規則の一部改正 ○経理規程の一部改正 ○デイサービスセンター運営規程の一部改正 ○平成21年度感謝のつどいにおける感謝状受賞者の選定	

<p>(2)評議員会の開催</p>	<p>■第1回評議員会／平成21年5月22日(金) ○平成20年度事業報告および決算報告 ○平成20年度監査報告 ○理事の選任 ○監事の選任</p> <p>■第2回評議員会／11月25日(水) ○平成21年度一般会計補正予算 ・平成21年度上半期事業報告 ・平成21年度上半期監査報告</p> <p>■第3回評議員会／平成22年3月26日(金) ○平成21年度一般会計補正予算 ○平成22年度事業計画および予算</p>	
<p>(3)調整会議の開催</p>	<p>理事会に向けての調整や重要な案件について検討するため、正副会長および常務理事による調整会議を開催しました ○5回開催</p>	
<p>(4)監査の実施</p>	<p>事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査を実施しました。 ■平成20年度監査／平成21年5月11日(月) ○平成20年度事業および決算に関する監査 とくに指摘事項はありませんでした ■平成21年度上半期監査／11月12日(木) ○平成21年度上半期事業および会計状況に関する監査 とくに指摘事項はありませんでしたが、監事より下記のような要望事項が挙げられました 【要望事項】 ①平成21年度は、第2次「立川あいあいプラン21」の最終年度にあたるため、事業報告ではその総括的な報告を明示していただきたい ②地域福祉コーディネーターの活動内容をいくつかに分類し、まちの課題を発見したことや、それに対応する市民の協力などを取り上げ、将来に向けて積極的な方向付けを行い、総括していただきたい ③事業報告の方法については、組織(担当課・係)がどれだけ効率よく効果的に活動していくかがみえるような報告の方法を検討してほしい</p>	<p>◆監事からの要望事項等への対応については、事業報告の際に反映できるよう確認を行いました</p>
<p>(5)東京都実地検査</p>	<p>障害者自立支援法により運営を行っている生活介護支援事業所について、東京都より実地検査を受けました ■東京都実地検査／平成21年6月29日(月) ○生活介護支援事業所に関する運営についての検査 【指摘事項】 ①運営管理 ・災害対策を十分に行うこと～防災性能を持つカーテン等の使用 ②利用者支援 ・個別支援計画について最低6カ月に1回以上見直しを行うこと</p>	<p>◆指摘事項については、以下のように改善を行いました。 ①ダイルーム内に防災性能を持つカーテンを設置しました ②個別支援計画についてはモニタリングを行い、定期的に見直しを行っています ③現在、会計職員が、週2回金融機関に行き、出納業務を行っているが、その実態に合わせ、経理規程を改正しました</p>

	<p>③会計管理</p> <p>・資産管理を適正に行うこと～現金について、経理規程に合わせた3日以内の金融機関への預け入れ</p>																																	
(6) 会員募集キャンペーン	<p>7月を中心に市内自治会等にご協力をいただきながら会員募集を実施しました</p> <p>○会員募集についての説明を、自治会連合会の支部会議の場を借りて行わせていただきました</p> <p>○団体会員には「団体会員ニュース」を発行</p> <p>○実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H20</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正会員</td> <td>8,951</td> <td>10,066</td> <td>88.9%</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>420</td> <td>482</td> <td>87.1%</td> </tr> <tr> <td>特別会員</td> <td>53</td> <td>60</td> <td>88.3%</td> </tr> <tr> <td>団体会員</td> <td>90</td> <td>106</td> <td>84.9%</td> </tr> <tr> <td>準会員</td> <td>368</td> <td>382</td> <td>96.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,882</td> <td>11,096</td> <td>89.1%</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>5,826,500</td> <td>6,560,833</td> <td>88.8%</td> </tr> </tbody> </table>		H21	H20	比較	正会員	8,951	10,066	88.9%	賛助会員	420	482	87.1%	特別会員	53	60	88.3%	団体会員	90	106	84.9%	準会員	368	382	96.3%	合計	9,882	11,096	89.1%	金額	5,826,500	6,560,833	88.8%	<p>◆社協の活動を知ってもらうために作成した、市民用の事業報告書「あいあいガイド 2009」を、会員募集の際に活用。また、「あいあい通信」においても、会員募集に合わせ、社協事業のPR記事を掲載しました。</p> <p>◆団体会員には、あいあい通信を送付するとともに、地域の情報や地域活動の提案等を掲載した「団体会員ニュース」を発行。施設・団体にとって地域活動のきっかけや住民との橋渡しになれたらと考えています。</p>
	H21	H20	比較																															
正会員	8,951	10,066	88.9%																															
賛助会員	420	482	87.1%																															
特別会員	53	60	88.3%																															
団体会員	90	106	84.9%																															
準会員	368	382	96.3%																															
合計	9,882	11,096	89.1%																															
金額	5,826,500	6,560,833	88.8%																															
(7) 第3次「立川あいあいプラン 21」の策定	<p>第3次「立川あいあいプラン 21」は、「誰もが安心して楽しく幸せにいきいきとくらすまち“立川”」の実現に向け、市民や地域のさまざまな関係機関・団体と協働しながら、住民サイドから地域福祉を計画的に推進する計画です</p> <p>この計画策定にあたり、平成20年度より、市民参画の策定委員会および部会を組織し、検討してまいりました</p> <p>※第1回から第3回委員会は、平成20年度に開催</p> <p>■第4回委員会／平成21年6月11日(木)</p> <p>・課題からみえる解決策等の検討</p> <p>■第5回委員会／9月18日(金)</p> <p>・各部会の報告および課題についての報告</p> <p>■第6回委員会／平成21年12月22日(火)</p> <p>・プランの構成および内容等について</p> <p>■第7回委員会／平成22年1月29日(金)</p> <p>・第3次「立川あいあいプラン 21」計画案について</p> <p>■第8回委員会／3月4日(木)</p> <p>・第3次「立川あいあいプラン 21」計画案について</p> <p>第3次「立川あいあいプラン 21」に関する具体的な内容等の策定については、作業部会を設けて検討作業を行いました</p> <p>■第1回作業部会／平成21年7月14日(火)</p> <p>・計画に盛り込む具体的な取り組みについての検討</p> <p>■第2回作業部会／8月20日(木)</p> <p>・計画に盛り込む具体的な取り組みについての検討</p> <p>■第3回作業部会／11月2日(水)</p> <p>・計画に盛り込む具体的な取り組みについての検討</p>	<p>◆委員会は、学識経験者、自治会、民生委員、市民活動センター登録団体、地域包括支援センター、公募市民、行政、社協理事から14名の委員で構成され、具体的な策定作業については作業部会を、社協の組織基盤の強化を図る発展強化部門の検討については、発展・強化部会を設け、策定を行いました。</p>																																

	<p>■第4回作業部会／11月27日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プランの構成について ・計画に盛り込む具体的な取り組みについての検討 	
	<p>■第5回作業部会／平成22年1月21日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プランの内容に関する検討 	
	<p>第3次「立川あいあいプラン21」の策定にあたり、地域福祉活動に関する計画と並行して、社協の財源・組織・職員など組織基盤の強化策を検討する発展強化部会を設け、検討を行いました</p> <p>※第1回部会は平成20年度に開催</p> <p>■第2回発展・強化部会／平成21年4月8日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立川市社協の現状(財務・職員・組織)について 	<p>◆委員は策定委員会と理事会から3名ずつ、6名でスタートしました。社協の発展強化について、財源・組織・職員・事業のことなどをテーマとして協議を行いました</p>
	<p>■第3回発展・強化部会／6月17日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立川市社協の理念等について ・事業(通所介護事業・訪問介護事業)の経営状況について 	
	<p>■第4回発展・強化部会／8月19日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業(生活介護支援事業)の経営状況について ・理事・評議員等のあり方について 	
	<p>■第5回発展・強化部会／10月7日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織運営上の課題(社協の広報・研修体系)について 	
	<p>■第6回発展・強化部会／11月11日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の構成と内容について ・組織の理念等について 	
	<p>■第7回発展・強化部会／12月7日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の構成と内容について 	

2. 研修事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)外部の研修への参加	役職員が専門的な知識や技術を身につけるため東京都社会福祉協議会など、外部の研修に参加しました	

3. 連絡調整事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)後援名義の使用許可	福祉関係団体や市民活動団体等が実施する事業に後援名義の使用を許可しました 42件	
(2)他団体との共催による事業	<p>関係機関・団体と共催により、事業を行い、ネットワークの推進に努めました</p> <p>○立川市心身障害者スポーツ大会(心身障害者スポーツ大会実行委員会／立川市)</p>	
(3)他団体が主催する会議等への職員派遣	<p>関係機関・団体が主催する各種委員会・研究会等に役職員を派遣し、連絡調整に努めました</p> <p>■全体／総務</p> <p>○区市町村社協部会(東社協)</p> <p>○区市町村社協事務局長会幹事会(東社協)</p>	

- 区市町村社協事務局長会(東社協)
- 東京都共同募金会委員会
- 立川市生活環境安全確保会議
- 立川市生涯学習推進審議会
- 立川商工会議所・東京都地域ジョブ・カードサポートセンター推進協議会
- 立川市民生委員・児童委員協議会会長協議会
- 立川市民生・児童委員協議会定例地区民生委員協議会
- 都内区市町村社協職員連絡会
- 北多摩西部ブロック社協職員連絡会
- (社)立川市勤労者福祉サービスセンター実施計画検討委員
- 市民活動センターたちかわ
- 立川市地域福祉計画策定委員会
- 立川市地域ケア会議
- 認知症拠点モデル事業推進委員会
- 西武立川駅周辺ユニまちソフト事業連絡調整会議
- 立川市防災モデル地区推進事業
- 柴崎町合同防災訓練実行委員会
- 世界ふれあい祭実行委員会
- 福祉ホットライン検討委員会
- 東京都教育庁 奉仕体験活動検討委員会
- 立川高校定時制課程学校運営連絡協議会
- 砂川高校定時制課程学校運営連絡協議会
- 砂川高校通信制課程学校運営連絡協議会
- 東京ボランティア・市民活動センター センター長会議
- 東京ボランティア・市民活動センター 事務局連絡会議
- 東京ボランティア・市民活動センター 運営委員会
- 北多摩西武ブロックボランティア担当者会議
- 夏体験ボランティア市区町村担当者連絡会議
- 災害ボランティア担当者連絡会議
- NPO 担当者連絡会議
- ボランタリーフォーラム 2010 実行委員会
- たちかわコミュニティビジネスプロジェクト
- 多摩コミュニティビジネスネットワーク
- 地域あんしんセンターたちかわ
- 東京都利用者支援区市町村連絡会
- 東京都成年後見制度推進機関連絡会
- 東京都成年後見制度関係機関推進機関合同会議
- 東京都区市町村権利擁護機関情報交換会
- 地域福祉権利擁護事業業務連絡会(東社協)
- 区市町村苦情対応機関情報交換会(東社協)
- 北多摩西部ブロック担当者連絡会(東社協)
- 立川市地域ケア会議(立川市／地域包括支援センター)
- 立川市小地域ケア会議(市内地域包括支援センター)
- 福祉相談センター連絡会(立川市／地域包括支援センター)
- 権利擁護業務連絡会(立川市／地域包括支援センター)
- 主任介護支援専門員業務連絡会(立川市／地域包括支援センター)
- 立川市介護支援専門員連絡会(立川市／地域包括支援センター／介護支援専門員連絡会幹事会)

	<ul style="list-style-type: none"> ○法テラス懇談会 ○北多摩認知症医療連携セミナー ○多摩地区主任介護支援専門員連絡会 ■地域包括支援センター ○立川市介護保険運営協議会 ○立川市地域福祉計画策定検討委員会 ○東京都社会福祉協議会センター部会 ○北多摩西部保健医療圏看護管理者連絡会 ○北多摩西部医療圏脳卒中リハビリテーション地域ケア部会 ○北多摩西部医療圏摂食・嚥下支援協議会 ○地域あんしんセンターたちかわ運営委員会 ○立川市第三者後見人連絡会 ○グループホーム やわらぎホーム西立川運営推進会議 ○グループホーム ヴィラ・フェローホームズ運営推進会議 ○東京都基幹型地域包括支援センターモデル検討会 ○東京の地域ケアを推進する会議専門部会B ○東京都介護保険事業推進委員会介護給付適正化部会 ○長寿社会開発センター地域包括支援センター業務マニュアル検討委員会 ○東京社会福祉士会地域包括支援センター委員会 ○日本社会福祉士会地域包括支援センター支援委員会 ■通所福祉 ○東京都市立心身障害児・者施設協議会職員研修会運営委員会 ○立川市自立支援協議会 ○立川市障害者施策推進委員会 ○立川市障害者スポーツ大会実行委員会 ○障害者施設支援連絡会(多摩立川保健所) ○天王橋会館管理運営委員会
(4)研修会・講座等への講師等の派遣	<p>関係機関・団体が主催する研修会や講座等へ、講師として職員を派遣しました。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ■市民活動センターたちかわ ○東京ボランティア・市民活動センター 市民学習研究協議会 ○東京都教育庁 奉仕推進者養成研修 ○全国社会福祉協議会 社協ボランティア・市民活動センター職員研究セミナー ○茨城県社会福祉協議会いばらき地域福祉フォーラムINつくば ○東京都福祉局 基幹型支援センターモデル検討会報告会 ○全国社会福祉協議会 市区町村社協地域包括支援センター研究会フォーラム ■地域あんしんセンターたちかわ ○立川市民生委員協議会定期総会講演会「その人らしく生きる」 ○立川市介護支援専門員新任研修「地域あんしんセンターについて」 ○地域福祉市民フォーラム「安心して老いるための準備」 ○三多摩弁護士会 「立川市における虐待対応」 ○全国社会福祉協議会「専門員実践強化研修」 ○(福)浴風会「スーパーヴァイザー養成講座」
(5)視察研修の受け入れ	<p>他地区の社会福祉協議会、関係機関・団体等の視察を受け入れました。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ■全体 ○東京都社会福祉協議会会長ヒアリング「立川市社協について」

	<p>■市民活動センターたちかわ</p> <p>○国分寺ボランティアセンター</p> <p>○明星大学学生ヒアリング</p> <p>○東京ボランティア・市民活動センター新任研修</p> <p>○江東区(ボランティアセンター、区民協働係)</p> <p>○一橋大学院生ヒアリング</p> <p>○小金井市市民協働支援センター</p> <p>○武蔵野プレイス</p> <p>○慶応大学学生ヒアリング</p> <p>○川崎市中原区ボランティアセンター</p> <p>■地域あんしんセンターたちかわ</p> <p>○柏崎市社会福祉協議会</p> <p>○越谷市社会福祉協議会</p> <p>○厚生労働省ヒアリング「日常生活自立支援事業について」、「地域包括支援センターとの連携」</p> <p>○民事法務協会ヒアリング「社協法人後見について」</p> <p>○東京司法書士会三多摩支会ヒアリング「立川市における虐待について」</p> <p>■地域包括支援センター</p> <p>○厚生労働省ヒアリング「日常生活自立支援事業について」、「地域包括支援センターとの連携」</p> <p>○科学技術振興機構 社会技術研究開発センター</p> <p>○東京都福祉保健局長寿社会対策部</p> <p>○厚生労働省社会援護局地域福祉課</p> <p>○北区高齢福祉課</p> <p>○立教大学大学院</p> <p>○社会事業大学大学院</p>
--	---

4. 普及・宣伝事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)機関紙「あいあい通信」の発行	立川における地域福祉の普及を主な目的に発行。市民参画の広報部会により、企画編集を行いました。なお、配布については立川市シルバー人材センターに各戸配布を依頼しています(発行部数 73,000 部) ○09 初夏(5/1)号 平成 21 年度事業計画ほか ○09 夏(7/1)号 平成 20 年度事業報告・決算報告ほか ○09 秋(10/1)号 赤い羽根共同募金ほか ○09 冬(12/1)号 歳末たすけあい運動ほか ○10 春(2/1)号 ほっとほっと地域～世代間交流できる場が広がっています ほか	◆社協事業のPRと、地域活動のPRがバランスよくできるよう紙面づくりを今後とも検討していきます。
(2)ホームページ	○アクセス件数 年間 11,129 件(1 日あたり 30.4 件) 累計 85,050 件(H12.10.25～)	

5. 人材育成

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)実習生等の受け入れ	社会福祉系大学および専門学校等から、社会福祉援助技術実習生等の受け入れを行いました。	◆人材育成については、社協の社会的な役割と考えるので、より有効な実習が

	<p>■社会福祉援助技術実習【全体／生活介護支援事業所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本社会事業大学(1名) ○武蔵野大学(1名) ○立教大学(1名) ○東洋大学(1名) ○明星大学(1名) ○法政大学(1名) ○東京学芸大学(1名) ○白梅学園大学(1名) ○田園調布大学(1名) ○日本社会事業大学通信教育科(1名) <p>■見学実習【総務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本社会事業大学(16名) <p>■施設見学実習【地域包括支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○独立行政法人国立病院機構災害医療センター <p>■在宅看護実習【地域包括支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立川市立看護専門学校(4名) <p>■教員免許法の特例による介護体験実習【生活介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国立音楽大学(16名) <p>■臨床研修【生活介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○西東京歯科衛生士専門学校(10名) <p>■都立高校奉仕体験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京都立北多摩高等学校 <p>■中学生職場体験【生活介護／デイサービスセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立川市立立川第一中学校(3名) ○立川市立立川第二中学校(2名) ○立川市立立川第八中学校(2名) ○立川市立立川第五中学校 <p>■総合学習受け入れ【デイサービスセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立川市立第四小学校 <p>■福祉ゼミ実習【総務／生活介護／デイサービスセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○星槎学園国際高等学校(10名) <p>■特別支援学校等生徒現場実習【福祉作業所／生活介護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京都立武蔵台特別支援学校(9名) ○東京都立村山特別支援学校(3名) ○東京都立羽村特別支援学校(2名) ○立川市立立川第五中学校(1名) <p>■ボランティア学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京都立立川ろう学校(11名／教員5名) 	<p>行えるよう受け入れ方法についての検討を行っています。</p>
--	--	-----------------------------------

II 地域福祉事業

誰もが身近なところで気軽に相談できる窓口としての「社協あいあいステーション」や専門相談事業の充実を図り、誰もが安心して暮らせるまちづくりに寄与しました。

<p>■組織体制</p> <p>○事務局体制／【総務係】職員(兼務)3名、常勤嘱託1名、非常勤職員4名</p> <p>■事業執行経費 約6,000千円</p>

1. 相談事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)専門相談事業	<p>総合福祉センター(①のみ)と伊勢丹立川店6Fの社協あいあいステーションにて、合計9種類の専門相談を、各専門機関の協力により実施しました。なお、⑦成年後見相談と⑧相続相談については、地域あんしんセンターたちかわの専門相談事業として実施。</p> <p>①アルコール相談・毎月第2・4(水)</p> <p>②心のふれあい相談・毎週(火)(木)</p> <p>③法律相談・毎月第1・3・4・5(土)、第3(火)</p> <p>④税金相談・偶数月第2(日)</p> <p>⑤年金相談・偶数月第4(日)</p> <p>⑥高齢者在宅介護相談・偶数月第1(水)</p> <p>⑦成年後見相談・毎月第2(土)</p> <p>⑧相続相談・毎月第2・4(火)</p> <p>⑨外国人相談・毎月第3(金)</p>	<p>◆あいあいステーションの場合、他の専門機関とは異なり、(土)(日)および祝日に相談事業を行っているところを特色としており、これについては、相談者はもとより、市役所の市民相談室をはじめとする市内の相談機関より評価されているところです。また、専門相談等で件数が少ないプログラムについては、見直しを検討します。</p>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
アルコール相談	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	1	0	5	71.4%
心のふれあい相談	1	1	0	0	1	0	1	2	1	2	1	1	11	44.0%
法律相談(司法書士)	5	12	2	6	13	7	11	1	10	6	10	10	93	98.9%
法律相談(弁護士)	4	4	2	3	3	2	4	3	2	2	4	1	34	121.4%
税金・税務相談	4	-	1	-	3	-	3	-	4	-	4	-	19	118.8%
年金・労務相談	2	-	0	-	2	-	2	-	0	-	3	-	9	60.0%
高齢者在宅介護相談	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0.0%
外国人相談(行政書士)	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	100.0%
成年後見相談	1	0	0	0	1	0	2	2	0	0	2	1	9	69.2%
相続相談	5	5	2	5	5	3	6	2	5	1	6	2	47	90.4%
	22	22	10	14	29	12	29	12	22	12	31	15	230	

2. 「社協あいあいステーション」運営事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)相談事業	<p>総合相談窓口として、福祉や介護、市民活動等についての相談を実施しました(相談件数:455件)</p> <p>※専門相談については前掲</p>	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
相談件数	36	38	52	55	44	33	40	27	42	29	39	20	455	65.6%

(2)ミニ手づくり教室「あいのて」

毎月第1(金)、第3(水)、第4(月)に高齢者の生きがいづくりの場として実施しています
 ○参加費(材料費) 1回 735円
 ○参加者 年間 179人

◆講師は、あいあいステーションスタッフですが、ほとんどの参加者がリピーターになるほど人気が高く、高齢者等の生きがいづくりの場として一役買っています。

あいのて	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
参加者数	17	17	17	18	6	11	12	12	18	18	17	16	179	94.7%

(3)手づくりショップの運営

市内外の小規模作業所の利用者やシルバー人材センターの会員が作成した手づくり品の販売を実施しています
 ○年間売上 2,141,842円(前年比 93.0%)

◆障害のある当事者が気軽に立ち寄れる場として定着してきました。
 ◆今後、出展している施設・団体を対象に物品の販売に関する研修(法的なルールなど)の実施を検討しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売上額	¥168,493	¥155,350	¥131,286	¥114,822	¥95,500	¥107,145	
前年比(%)	142.8%	72.8%	91.8%	90.8%	88.0%	70.1%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
売上額	¥103,622	¥78,200	¥744,974	¥150,750	¥142,900	¥148,800	¥2,141,842
前年比(%)	118.0%	73.7%	85.7%	118.0%	113.1%	119.1%	93.0%

※イベントおよび「あいのて」参加費を含む

(4)イベントの実施

福祉に関する普及や相談事業およびショップのPRを兼ねて、イベントを実施しました

■『クレープ紙で作る フラワーバスケット作り教室』
 (母の日に向けた企画)
 日時:4月29日(水・祝)①11:00-12:30②14:00-15:30
 協力:福祉作業所ポピーの家(調布市)
 参加者:①6名 ②9組13名(定員各回12名)

■『はじめての絵手紙教室～絵手紙を描いて贈ろう～』
 (敬老の日に向けた企画)
 日時:9月5日(土)①10:30-12:30 ②14:00-16:00
 講師:大谷春枝さん(絵手紙教室講師)
 参加者:①8名 ②7名(定員各回8名)

■『消しゴムはんこ教室』
 日時:10月16日(金)①11:00-13:00 ②14:30-16:30
 講師:貝森節子さん(日本遊印アート協会)
 参加者:①12名 ②12名(定員各回12名)

■『第7回ちくちく展』
 日時:11月26日(木)～12月2日(水)
 参加施設:あいあいステーション販売登録団体、他市福祉施設・団体等
 売上:約571,672円(前年比80.0%/目標額800,000円)
 来場者数:731名(昨年度729名)

◆立地条件の良い伊勢丹にて開かれるということもあり、各種イベントは例年通りたくさんのお客様で賑わいました。中でも手づくり教室は、「あいのて」同様に高齢者の生きがいづくりの場として一役買っているようです。一方、小さい子どもと親子で参加という参加者も見受けられました。
 ◆イベントは、お客様に地域の団体を伝えることだけでなく、あいあいステーションのネットワークを広げるきっかけづくりにも有効と思われれます。
 ◆ちくちく展は例年通りたくさんの方にご参加・ご来場いただきましたが、不況の影響か売上が減少しました。

	<p>■『さげもん つるし雛の展示』 日時:2月10日(水)~3月3日(水) 協力:ミニ手作り教室あいので</p>	
--	---	--

3. 災害等援護事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)緊急援護	<p>一時的に生活できない方への援護事業として実施</p> <p>■緊急援護 ○69件 185,815円(前年度/42件 89,480円)</p> <p>■要保護者緊急援護 ○18件 99,000円</p>	<p>◆次の収入までのつなぎ資金や、住宅手当等の申請書類作成経費などのための利用が目立ちました。問題の深刻さを感じられます。利用件数もかなり増加しています。</p>

4. 団体助成事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)地域福祉活動費助成	<p>■団体助成 ○3団体(立川市老人クラブ連合会、立川市子ども会連合会、立川市スカウト育成会) 899,000円</p> <p>■自治会助成 ※会費収納分の18%に相当する額(一団体500円以上) ○88自治会 883,090円</p>	

Ⅲ 市民活動センター事業

市民活動を価値観・分野・形態で分断せずに、包括的に支援していく中間支援組織として、市民参画による運営委員会を組織して「市民活動センターたちかわ」を運営し、「協働の推進」、「地域づくり」、「市民活動支援」の3つのキーワードに基づき、以下の事務事業を行ってきました。

<p>■組織体制 運営委員 20 名 【市民活動センター係】職員 6 名、非常勤職員 1 名 ■事業執行経費 約 40,000 千円</p>
--

1. 運営委員会によるセンター運営

事業名等	実績(実施日等)	評価等
(1) 運営委員会・専門委員会の開催	<p>市民参画による運営委員会を組織して、市民活動センター事業の企画、推進、評価を行いました</p> <p>■運営委員会／4 回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年度事業報告 ・運営委員の改選について ・各専門委員会からの報告 ・運営委員会と専門委員会の所属について ・上半期事業報告について ・第 3 次あいあいあプランについて ・市民活動啓発イベントについて ・平成 22 年度事業案内について ・運営委員研修について <p>■課題解決実行委員会／10 回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体が使いやすい助成金制度について ・助成金事業に関するアンケートについて ・助成金事業実施団体との情報交換会の開催 ・助成金制度利用実態調査について ・今年度の本委員会の取り組みについて ・助成金制度利用実態調査の考察について ・助成金制度利用実態調査の集計結果について <p>■団体支援委員会／12 回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年度助成金事業報告書審査 ・平成 21 年度前期助成金審査 ・平成 21 年度後期助成金審査 ・登録団体アンケートについて ・助成金事業実施団体との連絡会の開催 ・新しい助成金制度について ・助成金事業の改善について ・助成金制度利用実態調査の集計結果について ・市民活動団体向けマネジメント講座について ・平成 22 年度団体支援委員会の年間予定について 	<p>◆市民参画の運営委員(20 名)により、市民活動センター事業の企画、運営を行いました。</p> <p>◆21 年 6 月に運営委員の改選を行いました。</p> <p>◆運営委員の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会理事、ボランティア団体、NPO 法人、企業、関係行政機関、学識経験者、立川商工会議所、民生委員、その他市民等

	<p>■事業推進委員会／9回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第19～23回市民おもしろ大学の企画、運営 ・市民おもしろ大学の方向性について ・市民活動啓発イベントについて ・駅からハイキングについて ・事業推進委員会の目指す方向性について 	
--	---	--

2. キーワード1:「協働の推進」

事業名等	実績(実施日等)	評価等
(1)立川市第3次基本計画策定市民会議の運営	<p>■立川市第3次基本計画の策定にあたり、市民参加による市民会議の運営を行い、市民と行政の協働による計画策定の支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民会議全体会議／2回 ○市民会議幹事会／5回 ○市民会議分科会 ・計画推進分科会9回 ・福祉保健分科会5回 ・生活環境分科会8回 ・教育文化分科会5回 ・都市づくり分科会3回 ・産業分科会4回 	<p>◆平成22年度からの第3次基本計画策定の市民参加の支援を行いました。6分科会に分かれて、市民提言をまとめ、平成21年7月に最終提言書を市長へ提出しました。</p>
(2)協働の仕組みづくりと市民自治推進活動の支援	<p>■市民と行政の協働で運営されている、たまがわ・みらいパーク(旧多摩川小学校)の活動に協力し、協働の推進に寄与しました</p> <ul style="list-style-type: none"> ○たまがわ・みらいパーク企画運営委員会等への支援／13回 <p>■「立川市第3次基本計画策定市民会議」有志メンバーと「立川市第2次基本計画策定市民会議」から発足した、「たちかわ協働みらい会議」が「たちかわ市民みらい会議」として一体化しました。計画の進捗を確認し協働を進めることを目的とした会の活動に協力しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○たちかわ市民みらい会議への参加／5回 	<p>◆市民、行政と協働しながら、たまがわ・みらいパークを運営していくための側面的な支援を行いました。</p>
(3)市民と行政の協働事業や地域イベントへの参画	<p>市民と行政の「協働」事業や地域イベントなどに積極的に参画しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域学習館運営協議会準備会への参画 ・市内6箇所の学習館(旧公民館)の運営協議会立ち上げのための準備会に参画しました。／45回 ■立川市文化芸術のまちづくり協議会への参画／3回 ■立川市防災訓練への参画／10回(委員会等含む) ・立川市総合防災訓練(二小)平成21年9月6日 ・柴崎町防災訓練(一小)平成21年6月20日 ・砂川町防災訓練(九小)平成21年7月4日 ・富士見町防災訓練(四小)平成21年10月24日 ・幸町防災訓練(幸小)平成21年10月24日 ・栄町防災訓練(八小)平成21年10月31日 ・富士見町防災訓練(新生小)平成22年2月6日 ■駅前放置自転車クリーンキャンペーンのコーディネーター 	<p>◆各協議会等へ参画し、行政と市民の協働事業推進に寄与しました。</p> <p>◆立川駅近くの小学校に広報し、小学</p>

	<p>・平成 21 年 10 月 22 日／参加児童 11 名</p> <p>■春・秋の「楽市」実行委員会・企画運営委員会への参画／10 回</p> <p>○「春の楽市」平成 21 年 4 月 26 日開催。</p> <p>参加市民活動団体:8 団体</p> <p>○「秋の楽市」10 月 31 日・11 月 1 日開催。</p> <p>参加市民活動団体:21 団体</p>	<p>生や障害者の参加のコーディネートを行いました。第三小、第七小学校の児童が参加しました。</p> <p>◆「楽市」実行委員会に参画し、「まち」のにぎわい、市民活動団体の PR や財源確保の場の提供に努めました。</p>
<p>(4) 関係団体との協働事業の実施や企業の社会貢献活動の支援</p>	<p>関係団体や企業等と協働事業を実施して、地域福祉の啓発、企業の社会貢献活動、市民のボランティア活動への参加などの推進に寄与しました</p> <p>■第 17 回ふれあいミュージックフェスティバル／5 回(委員会等含む)</p> <p>・平成 21 年 12 月 20 日、国立音楽大学講堂大ホールにて開催／1,108 名来場</p> <p>○施設等でのプレコンサートの実施／7 回</p> <p>■企業の社会貢献活動の支援</p> <p>○ CSR の相談と活動コーディネート</p> <p>・三菱東京UFJ銀行職員研修／市内 8 カ所の施設・団体に 40 名の新入社員がボランティア体験</p> <p>・オムロン株式会社／CSR の展開方法について</p> <p>・入船茶屋／商店街主催のエコイベントへの広報協力</p> <p>・大和ハウス工業株式会社／「秋の楽市」でのボランティア活動</p> <p>・HAREKE</p> <p>・プルデンシャル生命保険</p> <p>・ワシントンホテル</p> <p>・(株)アイエムプランニングオフィス</p> <p>・(有)ハンドクラフト</p> <p>・(株)パソナキャリア</p> <p>■立川商工会議所との協働事業</p> <p>○JR 駅からハイキング</p> <p>・平成 22 年 2 月 20 日</p> <p>○春うらら桜ウォーキング</p> <p>・平成 22 年 3 月 28 日</p>	<p>◆東京ガス多摩支店、国立音楽大学と協働して、誰もが良質な音楽にふれる機会を提供しました。</p> <p>◆CSR相談では、新規の相談は減りましたが、継続して相談をいただく企業が増えています。</p> <p>◆商工会議所と市民参加プログラムを開催し、まちづくりの推進やボランティア活動の参加のきっかけづくりを行いました</p>
<p>(5) 関係機関との協働による地域課題の解決</p>	<p>関係機関と協働して地域課題の解決を図りました</p> <p>■民生・児童委員協議会／67 回</p> <p>■地域包括支援センター等との協働</p> <p>・立川市地域ケア会議／10 回</p> <p>・立川市小地域ケア会議／19 回</p> <p>・相談センター連絡会／1 回</p> <p>・介護予防業務連絡会／4 回</p> <p>■立川市子ども支援ネットワーク／36 回</p> <p>■高齢者虐待防止ネットワーク／1 回</p> <p>■立川市地域福祉計画策定委員会／9 回</p> <p>■地域における若者支援のための体制整備モデル事業</p> <p>ユースアドバイザー養成講習会／3 回</p> <p>■その他関係団体等への委員派遣等</p>	<p>◆定例会等への参加を通して、関係機関との連携を強化し、地域課題の解決を図りました。</p>

3. キーワード2「地域づくり」

事業名等	実績(実施日等)	評価等
(1) 地域福祉コーディネーターの配置による地域づくり	<p>第2次立川あいあいプラン21の目標の1つに掲げた、「地域課題に対応する住民福祉活動の推進」を果たすために、「地域福祉コーディネーター」を配置して、地域課題の解決や予防を重視した活動を、地域包括支援センターや自治会、民生委員協議会とともに行いました</p> <p>■各種相談の受付と対応</p> <p>○コーディネーターへの相談件数/231件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り、介護:66件 ・生計:13件 ・住居:2件 ・虐待:2件 ・家事:3件 ・市民学習:35件 ・子ども:33件 ・ボランティア:52件 ・その他:25件 <p>○対応等状況/428件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整(各種団体定例会出席、団体とボランティアの引き合わせ等) 251件 ・普及宣伝活動(福祉計画やコーディネーターの説明、介護予防・サロンの普及活動等) 109件 ・調査研究(自治会長、関係機関ヒアリング、団体活動訪問・情報収集等) 68件 <p>■地域懇談会等の開催、協力/56回</p> <p>○認知症高齢者を支える家族の会(見学会含む)/14回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年4月13日 参加者5名(ボランティア含む) ・平成21年5月11日 参加者7名 ・平成21年6月8日 参加者8名 ・平成21年7月13日 参加者6名 ・平成21年8月10日 参加者6名 ・平成21年8月10日 参加者2名(見学会) ・平成21年8月11日 参加者3名(見学会) ・平成21年9月14日 参加者7名 ・平成21年10月19日 参加者7名 ・平成21年11月9日 参加者5名 ・平成21年12月14日 参加者7名 ・平成22年1月18日 参加者7名 ・平成22年2月8日 参加者5名 ・平成22年3月8日 参加者7名 <p>○栄町・夏休み地域会食会/14回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年7月16日 参加者3名(打合せ) ・7月21日 参加者16名 ・7月22日 参加者20名 ・7月23日 参加者15名 ・7月24日 参加者17名 ・7月27日 参加者5名 ・7月29日 参加者12名 ・7月30日 参加者11名 ・7月31日 参加者12名 ・8月24日 参加者9名 ・8月25日 参加者12名 ・8月26日 参加者11名 ・8月27日 参加者13名 ・8月28日 参加者10名 <p>○その他自治会等との懇談会/28回</p>	<p>◆まちの課題を把握して、関係団体とその解決を図ってきました。</p> <p>◆市民生活に関するあらゆる相談に対応しました。</p> <p>◆相談件数は昨年度 202 件に対し 29 件増加しました。</p> <p>◆各種の対応状況は前年度 330 件に対し大幅に増加し、98 件増でした。</p> <p>◆月に 1 回の定例会を開催するようになり、介護者家族の精神的な支えとなっています。</p> <p>◆高齢者等の孤食の問題に対応するため、小学校を利用して夏休みの高齢者の食事会を試験的に開催した。子ども達もボランティアとして参加し、他世代交流の場となりました。</p> <p>◆各自治会単位等で小地域の懇談会</p>

	<p>【栄町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東栄長寿会 <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 4 月 24 日 参加者 30 名 平成 21 年 8 月 1 日 参加者 25 名(学習懇談会) ・江ノ島道東住宅自治会 <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 6 月 15 日 参加者 4 名(サロン打合せ) ・都栄自治会・認知症予防講座とサロン <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 6 月 24 日 参加者 8 名 ・高齢者向け料理交流会について打合せ <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 8 月 12 日 参加者 2 名 ・都営第 5 アパート自治会・見守り打合せ <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 8 月 20 日 参加者 2 名 ・栄サロン <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 9 月 2 日 参加者 2 名 ・防災訓練打合せ <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 9 月 2 日 参加者 6 名 ・第二団地自治会 <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 10 月 2 日 参加者 3 名 ・都営 6 丁目アパートお茶会打合せ <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 10 月 16 日 参加者 4 名 ・親栄自治会交流会打合せ <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 10 月 24 日 参加者 1 名 ・会食会打合せ <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 11 月 7 日 参加者 3 名 ・親栄自治会 防災学習会 <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 11 月 14 日 参加者 13 名 ・スマイルサロン <ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 1 月 23 日 参加者 8 名 平成 22 年 1 月 30 日 参加者 8 名 平成 22 年 2 月 6 日 参加者 10 名 平成 22 年 2 月 20 日 参加者 9 名 平成 22 年 3 月 7 日 参加者 10 名 平成 22 年 3 月 27 日 参加者 6 名 ○栄町猫対策委員会／1 回 <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 5 月 21 日 参加者 10 名 <p>【若葉町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピーサロン <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 4 月 24 日 参加者 4 名 ・小学校の介助員派遣について <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 6 月 9 日 参加者 3 名 ・緑ヶ丘ハイツ自治会 <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 7 月 5 日 参加者 10 名 ・見守りネットワーク交流会 <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 10 月 27 日 参加者 6 名 ・チャンプルーの会配食サービスについて <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 11 月 2 日 参加者 5 名 ・幸児童館施設活用について <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 11 月 20 日 参加者 3 名 	<p>を行いました。 身近な地域で開催することにより、参加者総数が増加しました。</p>
--	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てネットワーク <ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 3 月 3 日 参加者 3 名 平成 22 年 3 月 31 日 参加者 6 名 ■交流の場づくり ○生き生き健康体操教室の立上げ支援／6 箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・スローグループ(若葉町団地自治会集会所) ・伸和会グループ(防衛省立川宿舎自治会集会所) ・南部自治会集会所 ・都栄自治会集会所 ・江ノ島道東住宅自治会集会所 ・市営江ノ島自治会集会所 ○体操教室／5 回 <ul style="list-style-type: none"> ・栄町老人会・伸和会 <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 5 月 13 日 参加者 10 名 平成 21 年 6 月 13 日 参加者 10 名 平成 21 年 7 月 13 日 参加者 13 名 ・栄町・男性のための体操教室体験会 <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 5 月 26 日 参加者 10 名 ・若葉町・コスモス体操会 <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 8 月 19 日 参加者 22 名 ○支えあいサロン立上げ支援／4 箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・編み物サロン ・わかば麻雀くらぶ ・コスモス体操会 ・生き生き健康体操伸和会グループ ○わかばパステル絵画会 ○男性のための料理教室／7 回 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年 6 月 8 日:栄町 参加者 3 名(打合せ) ・平成 21 年 7 月 3 日:栄町 参加者 15 名 ・平成 21 年 9 月 4 日:栄町 参加者 13 名 ・平成 21 年 11 月 13 日:栄町 参加者 12 名 ・平成 21 年 5 月 17 日:若葉町 参加者 10 名 ・平成 21 年 7 月 12 日:若葉町 参加者 10 名 ・平成 22 年 2 月 23 日:若葉町 参加者 3 名(振り返り) ○住民のつながりづくり／3 回 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の立上げと防災学習会 <ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年 12 月 11 日 参加者 2 名 ・自治会の立上げとごみ減量学習会 <ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 1 月 30 日 参加者 6 名 ・自治会の立上げと炊き出し訓練 <ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 3 月 28 日 参加者 9 名 ■調査・広報活動 ○火災警報器の申請支援／101 世帯申請 ○まちネットの発行／年 2 回 計 21,000 部発行 <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 号 平成 21 年 11 月 約 9,000 部 ・第 2 号 平成 22 年 1 月 12,000 部 ■講座等の開催／2 回 ○「おたがいに支えあえるまち～新たな知縁・結縁・人の 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生き生き健康体操教室の制度を利用して活動グループの立上げ支援を行いました。 ◆コーディネーターによる支援で、栄町、若葉町のサロン数が増加しました。 ◆栄町は「栄町地区グッドネイバーをすすめる会」「地域包括支援センター」と共催で幸学習館にて開催しています。若葉町は「立川健康生活ネットワーク」「地域包括支援センター」との共催で開催しています。 ◆自治会の無い地域で組織化のための学習会を行いました。 ◆栄町、若葉町地域に地域福祉コーディネーターの広報誌を発行しました。
--	---	--

	<p>つながり～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年 3 月 2 日 参加者 10 名 講師: 大村洋永さん(至誠ホームスオミ園長) ○「私がおんなに楽しい理由」 ・平成 22 年 3 月 16 日 参加者 22 名 講師: 加藤勝子さん(視覚障害者・福祉教育協力者) ■グッドネイバー運動推進団体の支援と連携／16 回 ○グッドネイバー若葉定例会等 ・平成 21 年 4 月 10 日 参加者 10 名 ・平成 21 年 6 月 12 日 参加者 5 名 ・平成 21 年 7 月 10 日 参加者 10 名 ・平成 21 年 9 月 11 日 参加者 5 名 ・平成 22 年 3 月 12 日 参加者 5 名 ○栄町地区グッドネイバーをすすめる会定例会等 ・平成 21 年 4 月 9 日 参加者 14 名 ・平成 21 年 5 月 15 日 参加者 5 名 ・平成 21 年 6 月 17 日 参加者 9 名 ・平成 21 年 7 月 16 日 参加者 11 名 ・平成 21 年 9 月 7 日 参加者 9 名 ・平成 21 年 10 月 5 日 参加者 11 名 ・平成 21 年 11 月 11 日 参加者 11 名 ・平成 21 年 12 月 15 日 参加者 8 名 ・平成 22 年 1 月 15 日 参加者 8 名 ・平成 22 年 2 月 15 日 参加者 9 名 ・平成 22 年 3 月 5 日 参加者 9 名 ■地域団体との協働事業／7 回 ○「終の住処はどこ」学習会の開催 ・第 1 回「現在の住居で暮らし続けるには」 平成 21 年 11 月 13 日 参加者 40 名 講師: 川野和也さん(わかば地域包括支援センター) ・第 2 回「高齢者向け施設の種類と暮らし」 平成 21 年 12 月 11 日 参加者 39 名 講師: 栗原文男さん(至誠キートスホーム施設長) ・第 3 回「有料老人ホームの種類と暮らし」 平成 22 年 1 月 22 日 参加者 35 名 講師: 齋藤弘毅さん(民間介護施設紹介センター所長) ○家族介護教室 平成 21 年 11 月 28 日 参加者 6 名 平成 21 年 12 月 21 日 参加者 6 名 平成 22 年 1 月 29 日 参加者 7 名 ○「年をとっても住みなれた街で最後まで～みんなで考えよう在宅医療～」 平成 22 年 3 月 13 日 参加者 45 名 講師: 井尾和雄さん(立川在宅ケアクリニック院長) 	<p>◆グッドネイバー若葉との共催で3回連続の学習会を開催しました。</p> <p>◆栄町地区グッドネイバーをすすめる会、わかば地域包括支援センターと共催で家族の介護をしている方向けの講座を開催しました。</p> <p>◆高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会と共催で、在宅で医療を受けることの意味を地域の方と学びました。</p>
--	---	--

<p>(2) 地域懇談会の開催</p>	<p>地域課題の把握やその解決策の検討、そして、住民同士の顔の見える関係作りなどのために、グッドネイバー運動推進団体や地域の関係機関と連携して地域懇談会を開催しました</p> <p>■栄町・若葉町地区(前掲)</p> <p>■高松町地区／4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年5月12日 参加者6名(打合せ) ・平成21年6月9日 参加者4名(打合せ) ・平成21年9月4日 参加者18名 <p>【防災学習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年7月11日 参加者17名 <p>■幸町地区／10回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年4月7日 参加者15名 ・平成21年5月8日 参加者30名(夜回り) ・平成21年6月2日 参加者24名 ・平成21年7月24日 参加者23名(夜回り) ・平成21年9月11日 参加者24名(夜回り) ・平成21年10月16日 参加者13名 ・平成21年12月1日 参加者35名 ・平成21年12月28日 参加者10名 ・平成22年1月26日 参加者16名 ・平成22年2月13日 参加者28名 <p>■柏町団地／4回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年6月14日 参加者8名 ・平成21年8月30日 参加者50名 ・平成21年10月25日 参加者31名 ・平成22年3月30日 参加者8名 <p>■地域の課題解決のためのネットワークづくり、リーダー組織・人材の育成</p> <p>○西砂・一番市民活動ネットワークの活動支援／17回</p> <p>【定例会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年4月9日 参加者6名 ・平成21年5月11日 参加者8名(総会) ・平成21年6月9日 参加者7名 ・平成21年7月7日 参加者7名 ・平成21年8月3日 参加者6名 ・平成21年9月8日 参加者7名 ・平成21年10月6日 参加者7名 ・平成21年11月10日 参加者6名 ・平成22年1月12日 参加者5名 ・平成22年1月27日 参加者5名(地域包括支援センターとの打合せ) ・平成22年2月9日 参加者7名 ・平成22年3月23日 参加者8名 <p>【オープンガーデン作り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年4月13日 参加者20名 ・平成21年4月14日 参加者20名 ・平成21年4月15日 参加者20名 	<p>◆グッドネイバー推進団体や自治会、民生委員協議会、地域包括支援センターなどと連携して実施します。(3地区)</p> <p>※グッドネイバー推進団体定例会のうち、具体策を講じる「懇談」の要素が強いものも「懇談会」として含む。</p> <p>◆高松町地区では防災をテーマに学習会を開催しました。</p> <p>◆幸町地区では、夜回りを通じて地域の課題や資源を知る取り組みを行い、活動が活発化してきました。</p> <p>◆西砂・一番ネットワークでは、一番福祉作業所のオープンガーデンづくりを通じて、地域のネットワークづくりを行いました。</p>
---------------------	---	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年 4 月 17 日 参加者 20 名 ・平成 21 年 11 月 12 日 参加者 35 名 	
(3)グッドネイバー運動推進団体の支援と連携	<p>小地域での学びあい、助け合い、支えあい活動などを行なうグッドネイバー運動推進団体の支援を行なうとともに、同団体と連携して地域懇談会の実施や地域づくりに根ざした活動を行いました</p> <p>■柴崎町、栄町、若葉町、西砂・一番町のグッドネイバー運動推進団体の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会への職員参加による、情報交換、情報提供 ・地域懇談会の共同開催 ・講演会、講座開催時の講師紹介 ・活動費の助成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆グッドネイバー運動推進団体の活動費の補助や定例会への参加などをおして、小地域活動を推進しました。 ◆グッドネイバー運動推進団体と地域包括支援センターの連携を働きかけ、介護予防などの推進を図りました。
(4)支えあいサロン活動の促進	<p>高齢者や子育て中の親などが孤立した生活を送ることがないように、住民のたまり場、交流の場としての支えあいサロン活動を促進しました</p> <p>■サロン団体への情報提供</p> <p>■サロン連絡会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年 11 月 18 日 参加者 6 団体 8 名 ■活動費の補助 ・登録サロン数:49ヶ所 (高齢者 31ヶ所、子育て 15ヶ所、その他 3ヶ所) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域包括支援センターなどと連携し高齢者サロンの増加を図っています。昨年度に比べ 18 団体が増加しました。特に若葉町・栄町で健康体操や高齢者中心のサロンが増えました。
(5)学校を核とした市民学習支援、地域づくり	<p>市内の学校を核にして、児童・生徒と地域住民が学び、交流しあう授業づくりなどのコーディネートを行い、児童・生徒の豊かな成長、学校を核とした地域づくりに寄与しました</p> <p>■総合学習の時間や中学生の職業体験、都立高校の「奉仕体験活動」のコーディネートの実施、情報提供</p> <p>○出前講座や総合学習の時間などの支援校/15校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二小、三小、四小、五小、七小、八小、南砂小、松中小、新生小、一中、二中、七中、八中、九中、立川国際中 ○都立高校奉仕体験活動の支援/3校5課程 ・立川高校(全日制・定時制) ・北多摩高校 ・砂川高校(単位制普通科・通信制) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆総合学習の時間や都立高校の奉仕体験活動をおして、地域住民、ボランティア、市民活動団体と学校の連携を強化し、誰もが気軽に地域づくりに参加できるようコーディネートしたり、関係作りのために情報提供や授業への参加をしました。

4. キーワード3:活動支援

事業名等	実績(実施日等)	評価等
(1)市民活動に関する相談受付とコーディネート	<p>ボランティア活動、NPO活動などに関する相談を受け、市民のボランティア活動への参加や課題解決などを図るコーディネートを行いました</p> <p>■窓口、電話、訪問、メール等による相談受付件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1,208 件 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ボランティア活動、市民活動などに関する相談を多様な方法で受け、市民の課題解決につなげました。年間目標 1,100 件を上回りました。
(2)多様な世代の市民活動参加支援や啓発イベントの開催	<p>多様な世代の方々の地域活動、市民活動への参加のきっかけとなるよう、関係機関と連携したイベントを開催しました</p> <p>■市民活動団体立ち上げ支援/10回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のそば打ちボランティア養成講座受講者の団体 	<ul style="list-style-type: none"> ◆団塊世代の方々等、多様な世代の市民の誰もが、気軽にボランティア活動、市民活動に関われるよう支援し、1 団体が立ち上がりました。

	<p>立ち上げの支援を行いました。</p> <p>・楽市の模擬店での食器の再利用を進める「食器再利用推進協議会」の立ち上げ支援を行いました。</p> <p>■登録団体の情報提供の場の設置</p>	
(3) 市民おもしろ大学の開催	<p>魅力的で多様な生き様の市民を講師に招き、市民同士の学びあい、交流の促進、市民活動への参加などを目的に市民おもしろ大学を開催しました</p> <p>■多様な市民を講師に招いた「市民おもしろ大学」の開催</p> <p>○第 19 回 「大人の社会科見学第 4 弾たちかわ歴史探訪～普濟寺その歴史と宝物を訪ねる～」</p> <p>平成 21 年 4 月 4 日 参加者 40 名</p> <p>場所: 普濟寺</p> <p>講師: 弓場重典さん(普濟寺第 27 代住職)</p> <p>○第 20 回 「夏休み特別企画 新庁舎・親子見学会」</p> <p>平成 21 年 8 月 1 日 参加者 17 名</p> <p>場所: 立川市新庁舎建設地</p> <p>講師: 市村健一さん(立川市新庁舎建設準備課建設係長)</p> <p>○第 21 回 「楽市を 100 倍楽しむ楽市案内人!!」</p> <p>平成 21 年 10 月 31 日 参加者 10 名</p> <p>場所: 秋の楽市会場</p> <p>○第 22 回 「立川に若者支援で注目されている団体があるのをご存知ですか?!」</p> <p>平成 22 年 3 月 13 日 参加者 35 名</p> <p>場所: 女性総合センターアィム</p> <p>講師: 石山義典氏(NPO 法人「育て上げ」ネット事務局長)</p>	<p>◆魅力ある多様な分野で活躍する市民を講師に招き年間4回実施しました。第 21 回目はボランティア体験講座として開催したため、従来の講義形式とより参加者数は若干減少しました。しかし、ボランティア活動への参加のきっかけとして有効な方法でした。</p> <p>全体の参加者数は 102 名と講義中心で行った昨年度に比べ減少しました。</p>
(4) 夏！体験ボランティアの実施	<p>福祉施設や市民活動団体の協力を得て、市民のボランティア活動へのきっかけづくりを目的にした「夏！体験ボランティア」を実施しました</p> <p>■福祉施設、児童館、保育園、環境団体などのプログラムへの体験ボランティアの実施</p> <p>・参加者: 168 名</p> <p>・協力プログラム数: 80 団体 135 プログラム</p>	<p>◆7～9 月に実施しました。参加者数は目標 160 名のところ 8 名上回りました。協力団体数(昨年 70 団体)、プログラム数(昨年 109)とも増加しました。</p>
(5) NPO 法人設立ガイダンスの実施	<p>NPO 法人格を取得して市民活動を行いたい市民を対象にガイダンスを実施して市民活動の活性化を図りました</p> <p>■NPO 法の解説や NPO 化の意義、申請手続きなどを伝えるガイダンスの実施</p> <p>・平成 21 年 5 月 20 日 参加者 10 名</p> <p>・平成 21 年 7 月 12 日 参加者 12 名</p> <p>・平成 21 年 10 月 29 日 参加者 9 名</p> <p>・平成 22 年 2 月 17 日 参加者 13 名</p>	<p>◆年間4回開催し、目標 40 名のところ参加者数は 44 名でした。</p>
(6) 市民活動団体向け実務講座の開催	<p>NPO 法人を目指す団体の定款のつくり方や団体運営に欠かせない会計、税務、労務といった実務に関する講座を開催し、団体運営の基盤構築に寄与します。</p> <p>■「定款のつくり方」、「会計」、「税務」、「労務」に関する実務講座を実施しました。</p>	<p>◆税理士や社会保険労務士といった専門職を招いた連続講座を実施しました。参加者数は 43 名で、目標 80 名を下回りましたが、昨年度実績(23 名)より増加しました。</p>

	<p>【NPO 法人設立ガイダンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年 2 月 17 日 参加者 13 名(再掲) <p>【定款のつくり方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年 2 月 26 日 参加者 10 名 <p>【NPO 法人と会計・税務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年 3 月 6 日 参加者 11 名 <p>【NPO 法人と労務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年 3 月 12 日 参加者 9 名 	
(7) 市民活動団体向けマネジメント講座の開催	<p>市民活動団体が目的達成や地域社会の課題解決力をつけるために講座を開催し、市民活動団体の運営の充実を図りました。</p> <p>■「市民活動団体・ボランティアグループのための資金確保術」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年 3 月 15 日 参加者 32 名 ・場所: 女性総合センターアイム ・講師: 早瀬昇さん(大阪ボランティア協会) 	<p>◆市民活動団体の課題を探りながら、そのときの課題に応じた講座を開催しました。開催は 1 回のみでしたが 1 回あたりの参加者数は 32 名と増加しました。</p>
(8) 登録団体連絡会の開催	<p>市民活動センターに登録している団体間の出会いや情報交換、協働、ネットワークの強化による団体の課題解決などを目的に連絡会を開催予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マネジメント講座と同時開催(再掲) ・平成 22 年 3 月 15 日 参加者 32 名 ○支えあいサロン連絡会の開催(再掲) ・平成 21 年 11 月 18 日 参加者 6 団体 8 名 	<p>◆マネジメント講座に併せて実施しました。またサロンの連絡会も開催できました。</p>
(9) 事務機器などの貸出機材の整備	<p>市民活動団体の円滑な会議運営、事務の効率化などを図るために、事務機器などを整備し、貸出しを行いました</p> <p>■印刷機、PC、拡大コピー機、紙折り機などの貸出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ○印刷機 295 件 ○拡大印刷機 88 件 ○パソコン 32 件 ○図書 39 件/58 冊 ○車椅子 41 件/273 台 ○アイマスク 4 件/70 枚 ○点字板 0 件 ○音響装置 3 件 ○テント 7 件 <p>■ボランティアルームの貸出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ○しばざきボランティアルーム 延 100 団体 ○ふじみボランティアルーム 延 145 団体 	<p>◆多様な事務機器、車椅子、図書、備品、スペースの貸出しを行いました。貸し出し件数はほぼ横ばいの実績となりました。</p>
(10) 情報コーナーの整備・登録団体紹介冊子の発行	<p>ボランティア・市民活動を行いたい市民が気軽に情報を得ることが出来るよう、情報コーナーを整備するとともに市民活動センターたちかわに登録している団体の紹介冊子を発行しました</p> <p>■情報閲覧コーナーの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報数: 約 1,500 <p>■図書の整備</p> <p>■市民活動センター登録団体紹介冊子の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録団体数 147 団体(7,426 名) 	<p>◆市民が市民活動などに関する多様な情報を気軽に手に取ることが出来るようにしました。</p>

<p>(11)「市民活動センター★たちかわ通信」の発行</p>	<p>ボランティア活動、市民活動などに関する情報を基本とした通信を毎月発行し、市民活動の推進を図りました。あいあい通信は全戸配布。センター通信は図書館、学習館、市内協力店等に設置。関係機関、市民活動団体への直接送付を行っています。</p> <p>■市民活動センター★たちかわ通信の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行部数 417,100 部／年 <p>(センター通信単独発行 7 回／37,100 部、社協あいあい通信に情報掲載 5 回／380,000 部)</p>	<p>◆センター通信 7 回／年 1 回 5,300 部発行しました。あいあい通信掲載時は 5 回／年 1 回 76,000 部発行しました。</p>
<p>(12)「市民活動 WEB たちかわ」の充実</p>	<p>市民活動や市民活動センターなどに関する情報が、いつでも入手できるよう、ホームページの充実を図りました</p> <p>■ホームページ:「市民活動 WEB たちかわ」の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス数 24,903 件 	<p>◆迅速な情報入手に資するよう、定期的な更新、魅力あるページづくりを行いました。年間アクセス数目標 24,000 件を上回りました。</p>
<p>(13) 市民活動助成事業の実施</p>	<p>市民活動団体の立ち上げ資金や、事業資金を助成して市民活動団体の活動の充実を図りました</p> <p>■市民活動団体助成事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立ち上げ資金助成 10 団体 490,732 円 ○事業資金助成 17 団体 1,375,396 円 	<p>◆前期、後期に分け利用しやすい助成事業としていきました。助成団体:18 団体が目標でしたが、大幅に上回り 27 団体が利用しました。(前期報告との差異は申請取下げ等による)</p>
<p>(14) ボランティア保険の加入受付</p>	<p>ボランティア活動中の万が一に備えた、ボランティア保険、行事保険の加入を受け、安心してボランティア活動ができるよう支援しました</p> <p>■ボランティア保険の加入受付の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア保険加入者数:4,105 名 ・ボランティア活動等行事用保険:99 件 3,617 名 	<p>◆年間を通したボランティア保険、イベントごとの行事保険の加入を促進しました。ボランティア保険加入数は 4,000 名を若干上回りました。</p>

IV 生活福祉資金貸付事業

他機関からの借入れが困難な低所得世帯等を対象に、貸付事業を行いました。

- | |
|---|
| <p>■組織体制 【総務係】職員(兼務)2名、月額嘱託(兼務)6名</p> <p>■事業執行経費 約8,000千円</p> |
|---|

1. 生活福祉資金等貸付事業【東社協受託事業】

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)生活福祉資金	○相談390件／貸付47件 58,099,000円 (福祉費12件、教育支援費35件)	<p>◆長引く不況により、日常生活自体に不安を抱える方からの相談が例年以上に目立ちました。また住宅手当制度発足に伴い、再就職に向けた生活費の貸付相談が数多く見受けられました。</p> <p>◆離職者における貸付の可否は相談者の今後の生活を大きく左右するため、より慎重に相談者の不利益にならぬよう、細心の注意を払いながら対応しています。</p>
(2)再就職者支援資金 (平成21年10月まで)	○相談71件／貸付28件 21,290,000円 (再就職者支援資金17件、子育て上乗せ11件)	
(3)総合支援資金 (平成21年10月末より)	○相談280件／貸付109件 61,134,435円 (生活支援費63件、一時生活再建費24件、住宅入居費22件)	
(4)臨時特例つなぎ資金 (平成21年11月より)	○相談60件／貸付25件 2,500,000円	
(5)緊急小口資金	○相談98件／貸付36件 2,735,000円	
(6)不動産担保型生活資金	○相談6件／貸付0件	
(7)要保護者向け不動産担保型生活資金	○相談2件／貸付決定0件	

2. 研修事業等

事業名等	内容	評価等
(1)民生委員研修	<p>○民生・児童委員向け生活福祉資金実務研修会</p> <p>○日時:平成22年2月19日9:30~16:00</p> <p>○参加者:101名</p> <p>○内容:新しいセーフティネット 制度全般について 住宅手当緊急特別措置事業の概要について 各種貸付制度について 民生委員の役割について、事例検討等</p>	<p>◆新しいセーフティネットや各種貸付制度について、民生・児童委員を対象とした、実務研修会を開催しました。</p>

V 地域包括支援センター事業

立川市においては、立川市民生委員・児童委員協議会の地区割りと同じくする6生活圏域に各1ヶ所の計6ヶ所の地域包括支援センターと3ヶ所の福祉相談センターが設置され、活動を継続しています。

立川市社会福祉協議会は「南部西ふじみ地域包括支援センター」を運営し、市内全体のネットワーク形成の中核となる基幹型センターとして、立川市と連携をとりながら、市内センター間の連携を強化し、専門機関や介護保険事業者間のネットワーク形成、地域住民との協働による地域包括支援ネットワークを構築することを目的として以下の事業を実施してきました。

平成21年度については、地域包括支援センターの各専門職による業務別連絡会を通しての専門的取り組みの促進、ケアマネジメント支援としての初任者研修、現任者研修の実施、介護支援専門員連絡会との協働による認知症ケアについての市内サービス事業所との情報交換の実施、市内総合病院の相談室・地域連携室との情報交換の促進、通所サービス事業所の連絡会開催による地域のサービス基盤の強化、「安心して老いるための準備」をテーマとした地域福祉市民フォーラムの開催、地域自治会、グッドネイバー推進団体、地域の助け合いグループ等と連携しての予防事業、認知症サポーター養成研修等に取り組みました。

■組織体制 【介護支援係】職員4名、月額嘱託1名

■事業執行経費 約31,000千円

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)総合相談支援業務	<p>市民や関係機関・団体とのネットワークに基づいて地域の実態把握を行いながら、市民のニーズに対する総合相談支援を実施しました。</p> <p>○総合相談受付件数 3141件 ○実態把握件数 431件 ○苦情受付件数 18件 ○申請受付・代行件数 837件</p>	<p>◆前年度(2843件)と比較して相談件数が増加しました。また要介護認定の申請や一般福祉施策の申請受付・代行、車椅子等の短期貸し出しの相談も増加しました。</p> <p>◆総合福祉センターの窓口機能を活かしながら、来所・電話相談への対応、支援への結びつけ、必要に応じた訪問相談対応・継続的な支援を実施しました。</p> <p>◆担当圏域内の要支援認定者への訪問・実態把握のなかで、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯への支援・対応を実施しました。</p>
(2)権利擁護業務	<p>市福祉保健部、地域の権利擁護業務・成年後見制度推進における中核である社協地域あんしんセンターたちかわ、市消費生活センターとの連携のもとに、地域包括支援センターが地域の一時窓口として地域住民のニーズを把握し、必要な問題解決に向けての支援を実施しました。</p> <p>○権利擁護事業・成年後見相談対応(あんしんセンターとの連携) 29件 ○困難事例への対応 34件 ○虐待への対応 22件 ○地域包括支援センター権利擁護業務連絡会</p> <p>権利擁護業務関係者間の連携を促進するため、市内地域包括支援センター・福祉相談センター所属の社会福祉士、地域あんしんセンターたちかわ担当職員、高齢福祉課担当職員の連絡会議を開催。互いの取り組みの情報交換・意見交換のほか、高齢者虐待防止法、成年後見制度、支援困難事</p>	<p>◆一人暮らしで身寄りがない要介護・要支援世帯などへの対応依頼があり、時間をかけた支援体制構築が必要となりました。</p> <p>◆連絡会議の開催により、総合相談・支援業務における地域包括支援センター社会福祉士、社会福祉協議会職員、市高齢福祉課職員等の実務者レベルの共通認識・連携を深めました。</p> <p>◆「立川市高齢者虐待防止ネットワーク」に企画段階から参加協力を行いました。</p>

	<p>例の検討会を定期開催しました。オブザーバーとして地域包括支援センター運営協議会委員の弁護士に定期参加いただいています。</p> <p>①5月26日 高齢者虐待防止ネットワーク連絡会振り返り、弁護士より権利擁護対応の情報交換(高齢者虐待に関する弁護士会の取り組み)、成年後見申し立ての方法について確認等</p> <p>②7月28日 支援困難事例の事例研究・情報交換</p> <p>③9月14日 事務連絡・対応困難事例についての情報交換 「虐待対応のコア会議の持ち方について」</p> <p>④11月12日 生活福祉課との情報交換(生活福祉課の業務状況、在宅支援における課題、今後の連携について)</p> <p>⑤1月14日 弁護士から情報提供(豊島区の現状)、日本社会福祉士会地域包括支援センター全国研究集会の報告</p> <p>⑥3月12日 各生活圏域の団地等での孤独死防止取り組みについて情報交換、高齢者虐待対応における帳票類の活用について</p> <p>○地域あんしんセンターたちかわ運営委員会に、基幹地域包括支援センターとして参加・協力 ○地域あんしんセンターたちかわ主催の第三者後見人連絡会に参加・協力</p>													
<p>(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</p>	<p>在宅・施設・医療機関を通じた地域における包括的・継続的ケアを実施するため、関係機関との連携体制を構築し、介護支援専門員間の横の連携体制構築、地域の介護支援専門員と関係機関の連携促進を支援しました。また随時、介護支援専門員からの個別相談に対応しました</p> <p>■日常的個別相談指導・支援</p> <table border="0"> <tr> <td>介護支援専門員</td> <td>409件(平成20年度291件)</td> </tr> <tr> <td>サービス事業者</td> <td>188件(平成20年度138件)</td> </tr> <tr> <td>その他関係者</td> <td>285件(平成20年度184件)</td> </tr> </table> <p>■支援困難事例への指導・助言</p> <table border="0"> <tr> <td>介護支援専門員</td> <td>45件(平成20年度112件)</td> </tr> <tr> <td>サービス事業者</td> <td>7件(平成20年度11件)</td> </tr> <tr> <td>その他関係者</td> <td>15件(平成20年度21件)</td> </tr> </table> <p>■ケースカンファレンスへの参加・開催支援 27件</p>	介護支援専門員	409件(平成20年度291件)	サービス事業者	188件(平成20年度138件)	その他関係者	285件(平成20年度184件)	介護支援専門員	45件(平成20年度112件)	サービス事業者	7件(平成20年度11件)	その他関係者	15件(平成20年度21件)	<p>◆担当圏域を中心に、基幹支援センターとして、全市的に介護支援専門員、サービス事業者、病院関係者、民生委員等からのケアマネジメントに関する相談に対応。平成20年度に比較し、相談件数が増加傾向にあります。</p> <p>◆個別相談対応のほか、必要に応じて利用者宅や主治医面接への同行訪問、ケースカンファレンス開催支援を実施しました。件数としては平成20年度に比較して減少しています。</p> <p>◆介護支援専門員支援の一環として、サービス担当者会議・ケースカンファレンスへ参加し、支援を実施しました。</p>
介護支援専門員	409件(平成20年度291件)													
サービス事業者	188件(平成20年度138件)													
その他関係者	285件(平成20年度184件)													
介護支援専門員	45件(平成20年度112件)													
サービス事業者	7件(平成20年度11件)													
その他関係者	15件(平成20年度21件)													

	<p>■ケアマネジメント支援業務連絡会</p> <p>地域でのケアマネジメント支援業務の共通対応を推進するため、主任介護支援専門員、市担当者、地域あんしんセンター担当者の連絡会議を開催しました。</p> <p>① 5月14日 ・事務連絡 ・課題検討(ケアマネジャー支援体制について、各種関係機関との連携について、小地域ケア会議開催内容についてなど)</p> <p>② 7月23日 ・事務連絡 ・市内主任介護支援専門員との意見交換会の実施 ・地域包括支援センターの主任介護支援専門員の役割について</p> <p>③ 10月1日 ・事務連絡 ・ケアマネジャーの支援方法に関する意見交換(介護予防に関する事務運用についてなど)</p> <p>④ 11月17日 ・事務連絡 ・ケアマネジャー支援について(予防プラン作成における注意点など) ・各地域包括での取り組みについて</p> <p>⑤ 1月19日 ・事務連絡 ・立川市訪問介護事業者連絡会との連携協力について</p> <p>⑥ 3月16日 ・事務連絡 ・参加研修報告 ・次年度の取り組みについて</p>	<p>◆地域包括支援センターの主任介護支援専門員を中心とした共通対応を推進するため、定期開催による業務連絡会において、主任介護支援専門員の互いの情報交換を行ないました。また、各地域におけるケアマネジャー支援の方法と課題を共有し、主任介護支援専門員を中心とした、各地域での支援体制づくりの方法を検討しました。</p>
	<p>■福祉用具・住環境相談</p> <p>介護支援専門員が住宅改修や福祉用具貸与等のケアプランを作成する際に、身体機能や住環境に応じた適切な福祉用具の選択が可能となるように、理学療法士の訪問による相談・助言を行いました。また、市民の高齢者福祉・ケアの質の向上を目的に、対象世帯を訪問しての相談・助言も実施しました。</p> <p>相談員：溝呂木忠氏（元埼玉県立大学教授・理学療法士） （年度合計 9回実施 訪問相談件数合計 23件）</p> <p>① 平成21年 5月20日 訪問相談 4件</p> <p>② 平成21年 6月17日 訪問相談 3件</p> <p>③ 平成21年 9月16日 訪問相談 3件</p> <p>④ 平成21年10月21日 訪問相談 3件</p> <p>⑤ 平成21年11月18日 訪問相談 1件</p> <p>⑥ 平成21年12月16日 訪問相談 2件</p> <p>⑦ 平成22年 1月18日 訪問相談 2件</p> <p>⑧ 平成22年 2月17日 訪問相談 3件</p> <p>⑨ 平成22年 3月15日 訪問相談 2件</p>	<p>◆ケアマネジャーが対応に苦慮する住宅改修・福祉用具に関する相談に対し、福祉用具・住環境に詳しい理学療法士が訪問して相談対応を行いました。必要な住環境、福祉用具のアドバイスを渡し、重度化への移行の防止、本人の自立支援、家族の介護負担軽減につなげています。</p>

<p>(4)介護予防ケアマネジメント</p>	<p>地域における要介護予防を推進するため、下記の事業に取り組みました。</p> <p>①地域住民・団体との協働による予防の知識の普及 ②要支援認定者(要支援1・2)のケアマネジメント業務 ③特定高齢者の把握、及び介護予防事業に関するケアマネジメント</p>	<p>◆予防については、住民参加の主体的な取り組みが重要となるため、各地域包括支援センターが生活圈ごとに地域団体と共催しての予防教室を随時実施しました。9月には市内センターの職員が認知症キャラバンメイトの講習を受講し、順次、地域での「認知症サポーター養成講座」への取り組みを開始しています。</p>
	<p>■ 地域における予防、介護者支援、地域ネットワーク形成の取り組み、地域住民・団体との協働を推進しました。</p> <p>①富士見町住宅福祉あすなろ会定例会にセンター職員が出席し、地域の取り組みの情報交換を実施しました。 ②健康運動指導者による「家で続けられる健康体操」を総合福祉センターにて定期開催しました。地域の高齢者の運動機会の提供・予防の知識の普及に取り組みました。 講師：藪本隆子さん(健康運動実践指導者) ③毎月の第一地区民生委員協議会に職員が交代で出席し、情報交換・連携促進に取り組みました。 ④6月16日 立川市民生委員・児童委員協議会高齢者福祉部会の研修に協力し、「認知症サポーター研修」を実施して連携強化に取り組みました。また民生委員高齢者部会と市内地域包括支援センター職員による情報交換会を同時に開催しました。 ⑤5月7日 富士見町地区老人会東ふじみ会にて介護予防教室「健康体操及び新型インフルエンザの対策について」を開催しました。 ⑥8月5日富士見町地区老人会 東ふじみ会にて健康講座「熱中症」を開催しました。 ⑦11月11日 富士見町地区老人会 東ふじみ会にて健康講座「冬に向けての健康管理」を開催しました。 ⑧2月12日富士見町地区老人会 東ふじみ会にて健康講座 介護予防教室「お口の健康」を開催しました。 ⑨12月18日 にしき福祉相談センターと協力し、柴崎町の至誠コミホームにて、介護予防教室「冬を乗りきるために」を開催しました。 ⑩7月5日 富士見町地区健康フェアに参加し、介護予防に関する相談対応・認知症予防の取り組みの啓発・パンフレットの配布・周知を行いました。 ⑪7月18日 柴崎町地区グッドネイバー推進協議会と共催し、柴崎会館にて「転んでも骨折しない丈夫な骨に」講座を国立病院機構災害医療センターの看護部の協力により開催しました。 ⑫9月16日 立川市健康推進課 健康ささえ隊の皆さんの研修に協力して「地域包括支援センター概要と介護予防の取り組みについて」の説明を行いました。</p>	<p>◆富士見町・柴崎町を担当エリアとする第一地区民協には、職員が毎月交代で出席し、連携促進に務めています。</p> <p>◆富士見町老人会等と共催して介護予防についての取り組みを推進しています。</p>

	<p>⑬10月5日 富士見町自治会五月会の要請により、「認知症サポーター養成講座」を地域住民向けに実施しました。</p> <p>⑭10月25日 柴崎町地区健康フェアに参加し、介護予防に関する相談対応・認知症予防の取り組みの啓発・パンフレットの配布・周知を行いました。</p> <p>⑮11月16日 高齢福祉課生きがいづくり係と共催し柴崎福祉会館にて介護予防教室「太極拳講座」を開催しました。(高齢福祉課、ふじみ包括センター、はごろも包括センター、たかまつ包括センター、にしき福祉相談センターの共催事業として実施。)</p> <p>⑯3月18日 富士見町住宅自治会福祉あすなろ会と共催し介護予防教室を開催しました。運動器機能向上、口腔ケア、栄養改善等について説明し、実際に参加者とともに健康体操の実技を行いました。</p> <p>◆家族介護者の集いの定期開催 総合福祉センターを会場として、地域での介護者の集いを開催し、家族介護者間の情報交換と互いの支えあいに取り組みました。参加者からは、他の介護者の様子や取り組みを知ることにより、自らの状況を改めて見直し励まされたとの感想があげられています。</p> <p>① 7月 8日 午前10時～12時 ② 9月 1日 午前10時～12時 ③10月 6日 午前10時～12時 ④10月22日 午後1時30分～3時(女性総合福祉センターにおいて市内センターの共催にて実施) ⑤2月 2日 午前10時～12時</p>	
	<p>■地域包括支援センターの役割として要支援1・2認定者への介護予防ケアマネジメントを実施しました。</p> <p>4月管理件数154件(内委託61件) H20 年度143件 5月管理件数160件(内委託63件) H20 年度145件 6月管理件数156件(内委託61件) H20 年度143件 7月管理件数161件(内委託61件) H20 年度140件 8月管理件数165件(内委託61件) H20 年度141件 9月管理件数166件(内委託63件) H20 年度143件 10月管理件数171件(内委託62件) H20 年度144件 11月管理件数172件(内委託60件) H20 年度142件 12月管理件数177件(内委託62件) H20 年度142件 1月管理件数178件(内委託63件) H20 年度142件 2月管理件数176件(内委託64件) H20 年度145件 3月管理件数177件(内委託62件) H20 年度151件</p>	<p>◆要支援1・2認定者へ地域包括支援センターが電話連絡、訪問相談、制度内容説明、予防給付ケアマネジメント、居宅介護支援事業所との委託契約、毎月の給付管理業務を実施しました。</p> <p>◆前年度に比較して給付管理数が増加しています。</p> <p>◆予防プランのケアマネジメントを通し、相談支援を行いました。</p>
	<p>■特定高齢者への対応 立川市においては基本健康診査とともに介護予防に関する基本チェックリスト(介護予防アンケート)の実施が主治医により行われています。スクリーニング作業を経て、特定高</p>	<p>◆特定高齢者については、市健康推進課が通知により、健康教室や介護予防教室への参加による予防の知識普及・日常の取組みを促していま</p>

	<p>齢者候補者に対しては、立川市が通知し、予防の取組みの解説、予防教室の案内、各生活圏域の地域包括支援センターの連絡先を周知しています。地域包括支援センターでは必要に応じた訪問指導、介護予防に関するパンフレットの配布、地域の社会資源の紹介・つなぎを実施しています。</p> <p>■介護予防業務連絡会 市内センターの介護予防業務に関する共通対応を推進するため、市内センター看護師、市健康推進課保健師・担当者、高齢福祉課担当者、市民活動センターたちかわ職員、オプザーバーとして都老人総合研究所研究員らを構成メンバーとした介護予防業務連絡会を定期開催。事務連絡、意見交換・情報交換のほか、センター共同による介護予防の取組みを推進しました。(年間6回開催)</p>	<p>す。</p> <p>◆立川市では、市内老人クラブとの共催による予防事業が進められています。</p>
<p>(5)地域の共通的基本盤整備・地域のネットワーク形成事業 (基幹型センターとしての地域ケアネットワーク形成の取り組み)</p>	<p>■立川市地域ケア会議の毎月開催 市内の地域包括支援センター、福祉相談センター、高齢福祉課、介護保険課、健康推進課、市消費生活相談センター、都保健所、あんしんセンターたちかわ、シルバー人材センター、市内総合病院医療ソーシャルワーカーが集い、毎月第3木曜日に定期開催して、地域ケアの状況についての意見交換、課題検討を行いました。</p>	<p>◆毎月第3木曜日実施の市内全体の関係機関ネットワーク会議として定着しています。 ◆会議冒頭で、市内に新しく開設された事業所の紹介や各団体の地域の取り組みについての紹介の時間を設け、周知を行っています。</p>
	<p>■地域包括支援センター事務連絡会 地域包括支援センター予算・事業計画説明、コンピュータシステムの使用法、見守りネットワークの課題検討等を目的として、センター間の共通対応を推進するために開催しました。</p> <p>①7月16日・福祉会館との共催による講座開催について ・認知症出張相談について ・見守りネットワーク全体研修について</p> <p>②8月20日・「キャラバンメイト養成研修」について ・うつ予防に関する調査研究について ・インフォーマルサービスの調査・集計について</p> <p>③10月6日・認知症相談における医師会との連携について ・市民向け認知症支援パンフレットの作成について</p>	<p>◆市民や関係機関への共通した対応の推進のため事務連絡会を開催。センター間の共通認識を深めました。</p> <p>◆平成21年度については、介護報酬改定に伴う市内包括センターのコンピュータシステムに関する事業者情報入力、共通対応の推進を図りました。</p>
	<p>■福祉相談センター事務連絡会 市内3ヶ所設置の福祉相談センター間の連携と業務内容の共通認識を促進させるために実施。</p> <p>①5月13日・事務連絡 ・各センターの今年度事業計画について ・今後の連携について情報交換</p> <p>②10月20日・事務連絡 ・各センターの上半期の取り組み状況につい</p>	<p>◆市内3ヶ所の福祉相談センター間の情報交換の促進を目的として実施しました。市担当者、あんしんセンター担当者も参加し、地域での連携した取り組みを推進しました。</p>

	<p>て</p> <p>・地域包括支援センター、及び関係機関との連携について</p>	
	<p>■立川市介護支援専門員連絡会</p> <p>立川市全域の介護支援専門員連絡会を、基幹センターとして事務局となり運営しました。</p> <p>①4月16日 行政事務説明、グループでの情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「介護保険制度改正への対応・要介護更新認定に関わる経過措置について」 ・「立川市内の地域包括支援センター・福祉相談センターの体制について」 <p>②6月18日 行政事務説明、グループでの情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアに関するパンフレットの作成・配布についての説明 ・認知症ケアにおけるよりよい連携のあり方についてグループ討議 <p>③10月15日 高齢福祉課事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療との連携について ・市内総合病院の相談室・地域医療連携室の相談員や退院支援看護師との意見交換・情報交換 <p>④2月18日 高齢福祉課事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「介護支援専門員を支える会」主催「ケアマネサロン拡大版」について ・グループに分かれて事例検討会 	<p>◆連絡会幹事らとの企画検討、円滑運営に取り組みました。</p> <p>◆市内で活動する介護サービス事業所職員と介護支援専門員との認知症ケアにおける連携のあり方に関する意見交換・情報交換会を実施し、地域ケアの推進を図りました。</p> <p>◆市内総合病院の相談室・地域医療連携室の相談員や退院支援看護師との情報交換会を実施し、ケアマネジメントにおける医療連携を推進しました。</p>
	<p>■連絡会幹事会</p> <p>地域包括支援センターの主任介護支援専門員6名と各生活圏域から選出された居宅介護支援事業所の幹事6名の12名で幹事会を組織し、介護支援専門員連絡会の企画・運営を担いました。</p> <p>① 4月28日 第2回連絡会の内容検討・情報交換</p> <p>② 7月14日 第3回連絡会の内容検討・情報交換</p> <p>③10月28日 第4回連絡会の内容検討・情報交換</p> <p>④ 2月23日今年度の振り返りと来年度の計画について</p> <p>⑥ 3月16日新年度の体制について。4月にある連絡会の内容について</p>	<p>◆地域包括支援センター配属の主任介護支援専門員の役割として、連絡会の幹事を担っています。各生活圏域から選出された居宅介護支援事業所の幹事と協働して、市内全域の取り組み、及び各生活圏域における連携推進を行っています。</p>

	<p>■立川市介護支援専門員研修会</p> <p>介護支援専門員に必要な対人援助技術、相談面接技術、在宅ケアに必要な知識・技術、ケアプランに必要なとなる制度情報等の研修を実施しました。</p> <p>①新任研修 日時:平成21年5月12日午前9時30分～午後5時 内容:立川市高齢福祉課各係事業、社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業・成年後見制度利用支援事業、地域包括支援センター事業の説明 参加者:34名</p> <p>②新任研修2 日時:平成21年5月19日午前10時～午後4時 内容:「アセスメントの基本視点・居宅サービス計画記入のポイント」「介護予防マネジメントの実際・事例検討」 講師:南雲健吾さん(介護支援専門員・理学療法士), 高齢福祉課職員 地域包括支援センター主任介護支援専門員 参加者:41名</p> <p>③現任研修1 日時:平成21年6月16日午後1時30分～4時30分 内容:「高齢者のうつ症状への対応について」 講師:井原一成さん(東邦大学医学部社会医学講座 公衆衛生学分野・精神科医) 参加者:100名</p> <p>④現任研修2 日時:平成21年7月13日午後2時00分～4時00分 内容:「認知症高齢者の環境を活かした支援」 講師:下垣 光 さん(日本社会事業大学福祉援助学科准教授) 参加者:76名</p> <p>⑤現任研修3 日時:平成21年12月16日午後2時00分～4時00分 内容:「やってみよう! 正しい感染予防策・感染の発生予防及び蔓延防止」 講師:藤生高史さん(アサヒサンクリーン(株)東京支店多摩エリア長) 参加者:37名参加</p> <p>⑥現任研修4 日時:平成22年2月25日午前10時～12時 内容:「相続制度・遺言制度の実際と公証役場の仕事」 講師:高柳輝雄さん(立川公証役場公証人) 参加者:63名参加</p>	<p>◆新任、現任、専門といった地域レベルの研修体系を構築しています。毎年5月に新規就業者向けに実施している初任者研修を受講者の要望に基づき、2回に分けて時間をかけて実施しました。</p> <p>◆現任研修としてはケアマネジメントに役立つ実践スキルとして、「高齢期のうつ症状への対応」、「認知症高齢者の環境を活かした支援」「感染症予防」「相続制度・遺言制度の実際」をテーマとした研修を実施しました。</p>
--	--	---

	<p>■高齢者ケア研究会 多職種が集まり互いの情報交換や地域ケアについての事例研究、制度研究を実施しました。</p> <p>◆高齢者ケア研究会 実施内容</p> <p>①「一人暮らし高齢者への支援と地域ネットワークを考える」 平成21年9月17日午後6時30分～8時30分 51名参加 事例提供) 齋藤直樹さん(フェローホーム富士見相談センター) 栗原美幸さん(介護相談センターやわらぎ立川) 参加者によるグループ討議・全体共有</p> <p>②「地域ケアにおける主治医との連携を考える」 平成21年11月26日 午後7時～9時 41名参加 講師 ①塩安佳樹さん(はごろも内科小児科) ②田中重之さん(田中内科医院) 参加者によるグループ討議・全体共有</p> <p>③立川市地域市民フォーラム 立川アイムホール 平成21年12月19日 午後1時30分～4時30分 参加者203名 「安心して老いる為の準備」 ①基調講演「老い支度と財産管理」 講師:中山二基子さん(弁護士) ②地域関係者によるシンポジウム</p> <p>◆ケア研究会幹事会 ①平成21年6月4日 「高齢者ケア研究会事業計画について」 ②平成21年8月27日 「第1回研究会振り返り・第2回企画検討」 ③平成21年10月7日 「地域福祉市民フォーラム2009の内容検討」 ④平成21年10月19日 「地域福祉市民フォーラム2009の打ち合わせ」</p>	<p>◆高齢者ケア研究会幹事会を設置して企画運営を行っています。多職種参加の地域ケア研究会として運営しています。</p> <p>◆200名を超える参加者が集まり、関心の高さが伺えました。</p>
	<p>■立川市訪問介護事業者連絡会 ①7月23日 ・事務連絡 ・実践報告 「登録ヘルパーのサポート方法について」 齋藤直子さん((福)にんじんの会統括事業所長) ・グループ討議 「ヘルパーの人材確保・養成方法について」</p>	<p>◆在宅ケアの中心となる訪問介護、通所介護の事業所間の理解を深めることを目的として、事業者連絡会を実施。グループ討議等を取り入れ、情報交換の促進を行いました。</p> <p>◆訪問介護事業所のサービス提供責任者にとって、事業所に所属するヘルパーへの支援は大切な業</p>

	<p>②2月17日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務連絡 ・実践報告 「利用者支援における効果的なケアマネジャーとの情報交換について」 市内事業所と地域包括支援センター主任介護支援専門員の情報交換の実施。 ・グループ討議 <p>■立川市通所介護・リハビリテーション事業者連絡会</p> <p>①7月22日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務連絡 ・グループ討議「通所ケアにおける食支援について考える」 ・情報交換 <p>②2月10日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務連絡 ・「認知症高齢者の環境・住まいの工夫について」 ・グループ討議「通所ケアにおける認知症高齢者の環境の工夫」 講師: 下垣 光さん(日本社会事業大学准教授) ・情報交換 <p>■高齢者見守りネットワーク事業相談協力員全体研修会</p> <p>①8月7日 事務連絡、全体研修、各センターに分かれたグループ討議・情報交換</p> <p>全体研修「市民が行う救急救命の概要と実際」 講師: 中村定一さん(東京消防庁立川消防署警防課) 救命救急実技指導: 立川消防署の皆さん</p> <p>■担当エリア内(富士見町・柴崎町)協力員交流会</p>	<p>務になっている。また、ケアマネジャーとの連携もサービスの質を高める上で欠かせないことであることから、事例発表等、参加者の取組みの参考となる情報提供を行っています。</p> <p>◆各連絡会に幹事会を設置し、内容の企画・運営面での検討を進めています。</p> <p>◆訪問介護連絡会については、別途サービス提供責任者の懇談会を実施しています。</p>
<p>(6)広域的な地域包括ケア・支援センター関連事業への参加・協力</p>	<p>■東京都基幹型地域包括支援センターモデル事業</p> <p>東京都長寿社会対策部が実施した「東京都基幹型地域包括支援センターモデル事業」のモデル地域・センターとなり、モデル事業の検討委員会に委員を派遣するとともに、基幹型地域包括支援センターモデル事業を2年間実施しました。</p> <p>3月11日には、都内センター職員、市町村職員向けのモデル事業の報告会を実施しました。</p>	<p>◆東京都が実施する基幹型センターモデル事業に参加し、都内の新宿区、世田谷区、板橋区、国分寺市等と協働して、都内地域包括支援センター事業の推進に協力しました。</p>
	<p>■東京都社会福祉協議会センター部会北南ブロック会</p> <p>都内の地域包括支援センターが参加する東京都社会福祉協議会センター部会における北南ブロック会に参加し、地域全体のセンター間の情報交換に協力しました。</p>	
	<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○車いす短期貸し出し 159件 ○在宅介護ビデオ等の貸し出し 随時 ○市民からの福祉用具の寄付の申し入れの情報を随時、市内関係機関へ周知しました。 	<p>◆寄付物品を中心として、市民向けに、短期の車いす貸し出しを無料で実施しました。昨年度に比較し相談・貸し出し件数が増加しています。また総合相談センター1階に設置している福祉用具の展示場を活用して、用具の使用方のアドバイス、提供情報を随時行いました。</p>

VI 市受託事業

- 組織体制 【在宅サービス係】看護師(兼任)1名、短期間雇用職員6名
- 事業執行経費 約6,700千円

1. 機械入浴事業

立川市から委託を受け、自宅での入浴が困難な高齢者や障害者を対象とした機械入浴サービスを実施しました。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比		
登録者数	高齢者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	62	63.3%		
	障害者	12	14	14	14	14	14	14	15	15	15	15	16				
登録者数合計		15	17	17	17	17	17	17	18	18	18	18	19				
利用者数	高齢者	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2			447	102.3%
	障害者	12	10	13	11	11	12	11	10	13	13	12	14				
利用者数合計		14	12	15	13	13	14	12	11	14	14	13	16				
高齢者延利用者数		4	6	7	9	6	4	4	4	4	4	4	6				
障害者延利用者数		37	26	41	39	38	40	36	29	42	42	33	44				
延利用者数合計		41	32	48	48	44	44	40	33	46	46	37	50				
実施日数		21	18	22	22	21	19	21	19	19	19	19	22	242			

2. 難病患者等ホームヘルプサービス

立川市から難病を患っている方々へのホームヘルプサービス事業を受託し、自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護や家事援助サービスを提供しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年
利用者数	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	11
身体介護(時間)	3.0	3.0	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	33.0	16.5
家事援助(時間)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.5
合計	3.0	3.0	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	33.0	33.0

VII 福祉作業所事業

企業就労が困難な心身障害者が通所し、授産作業等を通して収入を得ることで自立した生活を支援するために、福祉作業所を運営します。また、各作業所では、それぞれの地域性をいかして、地域住民や団体との連携により地域交流活動を行いました。なお、一番福祉作業所については、平成 21 年度末をもって、市内の NPO 法人に経営を移譲することとなりました。

- 組織体制 【通所福祉係】職員 7 名、短期間雇用職員 13 名
- 事業執行経費 約 64,000 千円

一番福祉作業所■

1. 利用実績

月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	月平均
月初日在籍者数	9	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107	8.9
開所日数(日)	21	18	22	22	21	19	20	19	19	19	19	22	241	20.1
延べ利用者数(人)	157	115	170	166	154	152	147	140	150	136	147	166	1,800	150.0
利用率(%)	83.1	79.9	85.9	83.8	81.5	88.9	81.7	81.9	87.7	79.5	86.0	83.8		83.6

月平均工賃:21,260 円

2. 授産事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)請負作業	○佐藤商店(付録袋詰め) ○新日本包装 (お菓子化粧箱組立て) ○太陽紙工社(シール貼り、封入作業等) ○トップクライム(簡単な手作業)	◆請負作業は手先を使うことが多く、身障者に不向きな場合が多いため、個々にあった作業の確保が課題です。
(2)市受託作業	○北口歩行者専用道路(都市軸)清掃作業 毎月2回(隔週) ----- ○花苗育成作業 第1期:5月18日から6月16日 第2期:9月1日から10月2日 第3期:11月10日から12月9日	◆都市軸清掃に参加することで清掃の意識が高まりました。 ◆市営の駐車場が廃止、工事のため少なくなり、障害者割引が聞かない場所へ駐車することもありました。 ◆業者の方に育成のアドバイスをいただき、花苗がしっかりと育成されました。
(3)手づくり品	新たな物は製作しなかったが、今までのものをお祭りなどで販売した。	◆請負作業が忙しく、手づくり作品を作成する時間がありませんでした。
(4)わくわくショップ運営委員会	市内福祉団体との共同運営(白百合学園、ワークセンターまことくらぶ)で昭和記念公園イベント開催期間中に手づくり品の販売をする予定だったが、参加できなかった。	
(5)喫茶宅配	天王橋会館の利用団体への喫茶宅配サービスを実施。サークル活動、会議等で販売。	◆顧客が決まっている団体のみで、新規の注文がありませんでした。
(6)古紙回収	古紙を回収し業者にて換金。工賃収入を得る。社協ヘルパーステーションと連携し、古紙をゴミで出すのが困難な方宅へ行くことが多くありました。	◆古紙の価格が下落傾向にあります。 ◆地域内でも定着しました。

3. 施設運営事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)開所式	4月1日開催。利用者7名、家族6名参加。	◆20年度事業報告、21年度事業計画等を説明しました。

(2)家族面談	4月14日～開始。 アセスメント再聴取。地域権利擁護事業等説明。 12月14日～開始 合併に向けて聞き取りⅠ 2月19日～開始 合併に向けて聞き取りⅡ	◆「親亡き後」について、利用者、家族と話し合いました。 ◆合併に向けて、不安な点や質問などを聞き取り、いもっこに提示しました。
(3)家族懇談会	11月20日開催、家族4名参加 1月26日開催、家族4名参加 2月2日開催、家族7名参加 3月23日開催、家族6名参加	◆来年度、スムーズな合併が出来るようにいもっこ共同して懇談会を開催しました。
(4)健康診断	9月7日、利用者の健康維持、増進を目的として多摩立川保健所にて実施。 8名受診。1名は個人で受診していただいた。	◆生活習慣病と診断された方へのご家族含めたフォローが課題です。
(5)歯科指導	11月13日、西多摩歯科専門学校生徒による歯科指導を実施しました。	◆ご家族より、今後も継続してほしいと要望がありました。
(6)歯ミカップ参加	11月多摩立川保健所主催の歯ミカップに利用者1名、職員1名が参加しました。	◆もっと利用者の方に参加して欲しかったのですが、1名のみ参加でした。

4. レクリエーション活動

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)宿泊事業	9月2日～4日実施。利用者8名、職員4名参加。 草津ハイランドホテルに宿泊。鬼押し出し園等を見学。	◆移動時にマンツーマンで支援が必要な方が多いため、行動できる範囲が限られてしまうのが課題です。
(2)遠足事業	7月3日実施。利用者8名、職員4名参加。 山梨県笛吹市にて桃狩りを行なった。	
(3)外食	5月28日実施。利用者8名、職員3名、ボランティア1名参加。場所は炭火焼肉七厘房 7月2日実施。利用者8名、職員4名参加。場所は炭火焼肉七厘房 10月15日実施。利用者7名、職員3名参加。場所は江戸ーすたみな太郎 2月25日実施。利用者8名、職員3名、ボランティア1名参加。場所はパーミヤン幸町店 3月31日実施。利用者9名、父兄6名、職員3名、ボランティア1名。場所は江戸ーすたみな太郎	◆移動時に人手が必要なため、決まった場所での外食となってしまいます。 ◆普段、外食に行く機会が少ない利用者が多く、楽しみの一つとなっています。 ◆年度末、父兄より要望があり、一緒に外食に出かけました。
(4)一日外出	12月3日実施。利用者6名、職員3名、ボランティア1名参加。埼玉県日高市「サイボクハム」へ食事、買い物へ行く。 3月11日実施。利用者7名、職員4名、ボランティア1名参加。昭島MOVIXにて映画鑑賞後、ふらんす亭にて食事。	◆雨天のため、食事と買い物は楽しめたが散策が出来ずに残念でした。 ◆映画鑑賞に行く機会があまり無いので楽しかったという声が多かったです。 ◆ふらんす亭の油避けの仕事をした直後だったので、実際に自分たちが関わった仕事が間近に体験できました。
(5)カラオケ	天王橋会館の通信カラオケを月1回利用。	◆毎月、カラオケをするために仕事を頑張るという気持ちが強くなりました。

5. ボランティア促進事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
------	-----------	-----

(1) 夏体験ボランティア	ボランティア活動の促進と活動の受入れ。 小学5年生 1名	◆昨年度は 6 名近くいたが、今回は残念ながら 1 名のみの参加でした。
(2) ボランティア(定期)	定期的に1名の方が活動。 その他、2名が時間ある時に参加して下さった。	◆定期的なボランティアは行事にも参加して下さり、街で会っても声を掛け合えるようになりました。
(3) 西砂・一番市民活動ネットワーク	定期的に作業所の庭の整備ボランティアを実施。 4月13日～15日はオープンガーデン喫茶を実施。11月11日は豚汁と炊き込みご飯を作ってください、食事会を開催して下さい。	◆授産作業が忙しく、なかなかガーデニングのお手伝いが出来ませんでした。

6. 実習生受け入れ

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1) 武蔵台特別支援学校実習(夏休み)	8月3日～7日、1名(中等部2年)	◆夏休み期間のみ受け入れでした。
(2) 羽村特別支援学校実習	6月8日～19日、1名(高等部3年)	◆進路希望あり。Ⅱ期も実習依頼があったので、いもっこを紹介して実習をしていただきました。
(3) 立川五中生徒実習	11月16日、17日 1名 11月16日～20日 1名	◆授業の一環の社会体験として実習受け入れを行いませんでした。
(3) 福祉系大学実習生	実習単位取得の演習として実施。 9月7日～9日、1名 9月9日～11日 1名 9月10日、11日、15日、18日 1名	◆ 実習生が来ることにより、普段と違い雰囲気を利用者は喜んでいました。 ◆ 実習生の求めることへの対応について検討が必要です。

7. 地域活動事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)天王橋会館管理運営委員会	天王橋会館の運営について、利用者団体の代表として参加。 ・毎月1回、定例運営委員会開催。	◆会館祭りや音楽祭等、準備段階から関われることで、施設への理解が進み、利用者が参加しやすくなりました。
(2)天王橋会館祭り	6月20日に開催。利用者7名、家族5名、ボランティア9名参加。 手づくり品の販売の他、作業所で喫茶。	◆会館利用者をはじめ、地域住民の方々に施設を紹介する機会となっています。
(3)天王橋会館体験教室共催(餅つき)	2年前より天王橋会館が開催する「体験教室」の餅つき部門を共催。今年度は3月6日開催。利用者8名、父兄6名、職員3名、ボランティア6名が参加。	◆地域に浸透したようで年々、参加者が増えています。 ◆利用者も餅つき体験が出来て喜んでいきます。
(4)西砂・一番市民活動ネットワーク定例会への参加	月に1回、西砂・一番市民活動ネットワークより定例会の参加を切望された。	◆職員の調整がつかず、1回しか参加できませんでした。
(5)松明祭り実行委員会	松明祭りに開催に向けて、地域住民と出店団体が協議を行う。	◆休日の夜間なので利用者の参加が難しいのが課題です。

(6)松明祭り	8月23日、松中小にて開催。グッドネイバー西砂・一番のメンバーとともに、職員1名参加。	◆グッドネイバー、西砂・一番市民活動ネットワークの方々とのネットワークが強固になりました。
(7)総合学習	6月17日、18日東大和四中6名が作業所での職場体験を行なった。 11月11日武蔵村山四中7名が作業所での職場体験を行なった。 1月20日～22日立川七中6名が作業所での職場体験を行なった。 1月26日、2月25日、26日利用者1名が立川八小に出向き、総合学習のお手伝いをした。	◆障害者と初めて接した方ばかりで「良い経験が出来た」と喜ばれていました。

栄福祉作業所■

1. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
区分	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
月初日在籍者数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288	24.0
開所日数(日)	21	18	22	22	21	19	20	19	19	19	19	22	241	20.1
総利用人数(人)	431	358	465	430	410	402	377	377	338	350	378	428	4744	395
利用率(%)	85.5	82.9	88.1	81.4	81.3	83.2	78.5	81.4	74.1	74.1	82.9	81.1		82.2

◆月平均工賃：10,812円

2. 授産作業等

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)請負作業	<ul style="list-style-type: none"> ○付録袋詰め(通年) ○岩塩袋詰め・検品(通年) ○ポスティング(グッドネイバーと他単発のもの) ○ゴムひも通し(今年度は収入なし) ○入浴剤等の充填(通年) ○説明書袋入れ(通年) ○お菓子等化粧箱組み立て ○ビーズ通し(コサージュの一部) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆岩塩の作業効率が上がっています ◆岩塩は昨年以上に収入を得ることができました。 ◆ゴムひも賭けは前年度の在庫が多数の為今年度は作業はありませんでした。 作業としては継続です ◆新しく箱の組立作業がはじまりました。 ◆2月よりコサージュの一部ビーズ通し作業が始まりました ◆3箇所の)請負作業が昨年度で終了しました
(2)市受託作業	<ul style="list-style-type: none"> ○北口歩行者専用道路(都市軸)清掃作業 毎月2回(隔週) ○花苗育成作業 年3回 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1期…5月19日～6月22日 ・ 第2期…9月1日～10月5日 第3期…11月11日～12月16日 ○花壇管理 通年 	<ul style="list-style-type: none"> ◆路上生活者のゴミの量が非常に多く、分別に時間がかかっています。 ◆市営駐車場が無くなったため、障害者割引での時間制限内(2時間以内)に在庫しないと追加料を支払うことになりました。

(3)手づくり品製作販売	ハーブ入り小物等を製作販売しました	◆請負作業に時間を取られ、製作時間が取れなかったこと等が課題です。 ◆今年度は注文に応じてのみ製作しました。
--------------	-------------------	---

3. 季節行事など

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)開所式	4月1日(水) ○新規利用者紹介 ○20年度報告並びに21年度事業計画の説明 利用者22名、家族14名、	◆利用者、家族、職員、関係者が顔を合わせる機会としています。今年度は新規利用者は1名です。
(2)防災訓練	5月26日(火) ○作業中に1F台所より出火を想定 ○参加者 利用者22名、職員6名、 12月2日(火) 利用者 名 ボラ1名 職員6名、 第二中学校特別支援学級2名 実習生 先生1名	◆外への避難までの時間1分46秒 課題/2Fで作業している人の避難介助のため1Fの職員が速やかに2Fへ誘導の援助をする。今回はスムーズに避難できました。
(3)ランチショッピング	5月28日(木)~29日(金) 延べ利用者22名、職員6名、参加。 近隣の山田うどんにて食事をする	◆決められた金額内で自分の好きなものを注文する。金額以上の品を選んだ方に対する支援等をとおして、社会経験を積むことができたと感じています。
	10月29日(木) 利用者17名 職員6名、参加 近隣の店舗で昼食の買い物を実施	◆決められた金額の中で購入することができるようになってきました。 ◆各利用者の買い物状況を調査しました。
(4)レインボープール	7月30日(水)、31日(木) 利用者13名参加	◆プール活動を希望されない方は通常通りの作業を行いました。 ◆参加人数が少ないため、来年度は検討が必要です
(5)流しそうめん	8月7日(木) 利用者19名、ご家族3名 ボランティア1名、参加。	◆今年度はグループに分けずに全員できるように工夫をしたことやまたご家族の参加もありより楽しく過ごすことができました。
(6)ボウリング大会	2月1日(月) 利用者18名参加。ボランティア 1名 エルトレイン 昼食ボンパドレ	◆余暇活動を十分に楽しむことが出来ました。またがんばろうという意気込みが感じられます。
(5)カラオケ大会	3月25日(木) 利用者21名 ボランティア 1名参加。 立川北口エルトレイン 昼食高島屋	◆年度の最後に恒例のカラオケ大会で十分に楽しみ、来年度の活力になっています。

4. ボランティア・実習生の受け入れ

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)日中活動時のボランティア	3名の方が年間通して活動されました。	◆定年退職者の社会貢献活動および精神障害の方の社会復帰に向けてのボランティア活動を受け入れました

(2)実習生	10月19日(月)～30日(金) 都立武蔵台特別支援学校 生徒1名	◆実習生は、21年度の卒業生で、22年度入所予定者です。
(3)ボランティア学習	都立立川ろう学校 12月7日(月) 中学部 生徒6名、教員3名 2月22日(月) " 生徒5名、教員3名	◆ボランティア先の提供を通して作業の体験と利用者との交流の社会経験を積んでいただきました。

◆延べ受け入れ人数：161名

5. 地域交流活動等

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)セレモアつくば 大感謝祭	10月10日(土) 職員2名参加	◆大勢の地域の方がこられて作業所の手づくり品やバザー品販売と作業所の紹介等もできました。
(2)栄作業所夏まつり	8月1日(土) 来場者約200名 参加者 利用者22名、職員8名、家族8名、ボラ5名 ・協力/栄町グッドネイバー、中砂自治会、子ども会、しあわせ会 ・第八小学校の金管バンド演奏実施 ・地域の方々との交流を目的としています	◆毎年開催することにより、各団体関係者と作業所利用者との交流が図られてきています。

富士見福祉作業所■

1. 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
区分	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月		
月初日在籍者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108	9.0
開所日数(日)	21	18	22	22	21	19	20	19	19	19	20	21	241	20.1
総利用人数(人)	183	156	191	188	156	157	156	160	159	158	170	181	2,015	168.0
利用率(%)	87.1	86.6	86.8	85.5	74.2	82.6	78.0	84.2	83.7	83.2	85.0	86.2		83.6

月平均工賃:17,010円

2. 授産事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)請負作業	○定期作業 ・付録袋詰め ・お菓子等化粧箱組立て ・ポスティング ○不定期作業 ・ダイレクトメール封入作業 ・ポスター両面テープ貼り作業	◆新規作業の開拓をし、利用者個々の適性に応じた作業の確保及び東京都の平均工賃額以上を支給できるように努めました。
(2)市受託作業	○北口歩行者専用道路(都市軸)清掃作業 毎月2回(隔週) ○花苗育成作業	

3. レクリエーション活動の実施

事業名等	実績(実施日など)	評価等
------	-----------	-----

(1)一日外出 年3回	○5月28日に記念公園にてバーベキューを行う。(利用者9名参加) ○11月19日に車にて武蔵村山でボウリングを実施。(利用者8名参加) ○3月8日に車にて南大沢「ミートレア」へ行く。(利用者8名参加)	◆利用者自身が行く場所を決めて自己決定への意識向上を図ることができました。また普段利用することの少ない「公共交通機関」を使用することにより社会体験ができました。 ◆「障害者」は同年代の障害のない方に比べ、ライフステージにおける社会経験が極端に少ないため、施設行事により社会経験の向上を図ってきました。しかし、施設でできる範囲の限界を感じています。
(2)季節行事	○お花見:4月9日に記念公園へ行く(利用者9名参加) ○プール活動:8月の金曜日に生活介護と一緒にセンターのプールを使用。 ○立川市スポーツ大会:10月4日開催。(利用者4名、ご家族3名) ○忘年会:12月28日にピザの寄付でお世話になっているトスカーナにてオードブルを注文して開催。 ○新年会:1月4日にモノレールで高幡不動へ初詣に行く。(利用者9名参加) ○外食:9月:ラーメンスクエア、3月:すたみな太郎	

4. ボランティア・実習生の受け入れ

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)夏体験ボランティア	○8月:延べ8名 ○9月:述べ9名 ○10月:述べ2名	◆昨年度は参加者がいなかったが、今年度は行事参加を取り入れ一気に増えました。
(2)日中活動時のボランティア	・通年:あすなる会の作業ボランティア、切手切り活動 ・作業ボラ:8月～12月まで1名定期的に活動(延べ31名)	◆今年度も引き続き、年間を通してあすなる会のボランティア活動を受け入れたことにより作業効率が上がると同時に、交流が図られました。 ◆今年度はあすなる会以外のボランティアの受け入れが紹介が市民活動センターからありました。

5. 地域自治会との交流

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)地域老人会との交流	○ゲートボール・・・毎週金曜日に自治会内の公園で行う。 ○ゲートボール市民大会・・・9月5日に参加。 ○切手きり・・・毎月第4火曜日にサロンの場として作業所にて一緒に行う。 ○毎月第1, 3火曜日に公園清掃のお手伝いに行く。	◆地域の人たちに気軽に声をかけていただくようになり、地域での見守り体制も少しずつ構築されつつあります。 ◆多くの経験をするにより、利用者の社会経験の向上が見込まれます。
(2)地域交流会	○7月25日に流しそうめん開催。(利用者9名、ご家族2名、地域参加8名、) ○3月27日にもちつき開催。天候不良のため餅つきではなく食事会を行う。(利用者8名、地域参加9名、ボランティア1名)	

一番・栄・富士見福祉作業所共通行事■

事業名等	実績(実施日など)	評価等
------	-----------	-----

(1)遠足	7月3日に3作業所合同で山梨県へもも狩りに行きました。 (利用者一番9名・栄20名・富士見7名参加)	◆昨年度のりんごに続きももを取ることが出来たことは社会経験を積む機会となりました。また、直接触れて楽しむことができることは全盲の利用者にとって、より良い経験をもたらしたと感じています。
(2)宿泊	9月2日～9月4日 群馬県草津温泉に宿泊 おもちゃ博物館、鬼押し出し公園、湯もみ、グリーン牧場、見学 (利用者富士見8名・栄20名・一番8名参加)	◆日常と違った環境で過ごすことにより、多くの社会経験を積むことができました。
(3)クリスマス会	12月25日に3作業所合同でクリスマス会を開催。 立川駅南口 (利用者:一番9名・栄22名・富士見8名参加)	◆昨年度、最優秀出席者など利用者の表彰を行ったことが励みになったようなので引続き行った。
(4)立川市障害者スポーツ大会	10月5日(日)開催 立川市泉体育館	◆実行委員1名選出。 視覚、聴覚、身体、知的等様々な障害者が協働で開催。障害により抱える課題が違うため、競技の調整等が難しいところがあります。
(5)砂川学習館まつり	9月15日(日)開催	◆作品、パネル展示等により作業所並びに生活介護支援事業所の活動を紹介しました。
(6)健康診断	○多摩立川保健所にて健康診断実施	◆利用者の健康状態の把握ができ利用者にあった作業の選択ができました。 ◆再検査の診断が出た利用者の家族に検査をお願いするが、なかなか行かないというのが課題です。

Ⅷ 居宅介護支援事業

利用契約された市民に対し、介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、質の高いケアマネジメントを行うことにより、市民の安心に寄与しています。また契約制度におけるセーフティネットとして、多様な相談に対応するとともに、介護予防計画作成への対応を、立川市、地域あんしんセンターたちかわ、地域包括支援センターと連携して実施しました。

- 組織体制 【介護支援係】常勤嘱託4名
- 事業執行経費 約17,000千円

事業名等	実績(実施日など)													評価等	
(1)介護サービス計画の作成	年間														
介護サービス計画															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	前年比%
介護1	43	43	39	39	41	46	45	48	49	47	47	49	536	469	114.3
介護2	25	29	25	26	25	25	26	27	28	29	25	26	316	352	89.8
介護3	16	14	13	15	17	15	16	17	17	17	18	18	193	210	91.9
介護4	18	20	17	17	18	18	17	17	14	15	16	18	205	213	96.2
介護5	11	11	13	10	10	10	10	9	10	9	8	9	120	135	88.9
合計	113	117	107	107	111	114	114	118	118	117	114	120	1370	1379	99.3
予防支援計画 ※地域包括支援センターからの受託作成															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	前年比%
要支援Ⅰ(受託)	8	7	7	7	5	4	4	4	4	3	3	3	59	79	74.7
要支援Ⅱ(受託)	6	6	6	6	7	7	4	2	2	3	3	4	56	74	75.7
合計	14	13	13	13	12	11	8	6	6	6	6	7	115	153	75.2
要介護認定調査															
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
要介護認定調査	5	4	4	5	0	0	4	4	3	4	4	5	42		
◆社会福祉協議会が実施する居宅介護支援事業所として、地域のセーフティネットの役割、及び地域包括支援センターの各種研修・連携会議業務等の補助的役割を担っています。															

Ⅸ 通所介護事業

要支援、要介護認定を受けた高齢者の孤立感の解消や心身機能の維持などを図るため、通所介護事業所を経営し、趣味・生きがい活動や食事の提供、入浴サービス等を行いました。

■組織体制 【在宅サービス係】職員 1 名、常勤嘱託 1 名、短期間雇用職員 24 名
 ■事業執行経費 約 41,000 千円

1. 利用実績

『一般型』（要介護、介護予防）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年
一日当たりの定員	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	20
開所日数…(D)	21	18	22	22	21	19	21	19	19	19	19	22	242	243
「要介護」 実利用者数…(a)	40	43	42	43	47	49	49	50	51	49	49	50	562	414
延利用者数…(a')	241	233	309	304	297	303	330	321	321	293	323	356	3631	2206
「介護予防」 実利用者数…(b)	20	19	16	18	17	18	15	12	13	15	15	14	192	229
延利用者数…(b')	101	83	81	91	71	83	81	48	55	59	52	66	871	1046
実利用者数合計 (a+b)	60	62	58	61	64	67	64	62	64	64	64	64	754	643
延利用者数合計 (a'+b')…(N)	342	316	390	395	368	386	411	369	376	352	375	422	4502	3252
利用率【%】 N/(各月定員×D)	65.1	70.2	70.9	71.8	70.1	81.3	78.3	77.7	79.2	74.1	78.9	76.7	74.4	66.9

*「一般型通所介護」は月曜～金曜の週5日間開所、土曜は「認知症対応型」専門のため休業日としています。

『認知症対応型（地域密着型）』（要介護、介護予防）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年
一日当たりの定員	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
開所日数…(D)	25	23	26	26	26	23	26	23	23	23	23	26	293	293
「要介護」 実利用者数…(a)	26	26	24	28	28	28	29	30	30	28	28	30	335	253
延利用者数…(a')	211	182	209	215	208	198	229	209	228	201	210	240	2540	1941
「介護予防」 実利用者数…(b)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延利用者数…(b')	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実利用者数合計 (a+b)	26	26	24	28	28	28	29	30	30	28	28	30	335	253
延利用者数合計 (a'+b')…(N)	211	182	209	215	208	198	229	209	228	201	210	240	2540	1941
利用率【%】 N/(各月定員×D)	70.3	65.9	67	68.9	66.7	71.7	73.4	75.7	82.6	72.8	76.1	76.9	72.2	55.2

2. 会議や研修など

事業名等	実績(実施日など)	評価等
内部研修	<ul style="list-style-type: none"> ○H21. 6.19(金) 動作介助研究会による移乗介護について ○H21.10.16(金) 感染症について ○H22. 2.19(金) 認知症について ◎ H22. 2.19(金) 認知症サポーター公開講習会 	◆家族・地域参加向けに認知症サポーター講座を開催しました。
会議	<ul style="list-style-type: none"> ○デイサービス運営会議(常勤職員)(月2回) ○全体会議(年7回) H21. 4.17(金) 年間計画等 H21. 5.15(金) サービス提供時間「6時間以上8時間未満」化(※) H21. 9.18(金) 業務点検、プログラム改善 H21.11. 20(金) 法令遵守、虐待防止、マニュアル確認 H21.12.18(金) 防災 H22. 2.19(金) 認知症ケース検討 H22. 3.19(金) 年度振り返り、次年度に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ◆フロアリーダーを含めたリーダー層による運営会議で6-8化の安定のため、業務検討に力を入れました。 ◆短期間雇用職員も含めた全職員での意見交換に力を入れました
講師等による活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月2回 音楽療法、健康体操、書道 ○ 週3回 理学療法(個別的リハビリ)、運動器機能向上(介護予防) (参考:【昨年末まで】週2回 理学療法(集団 及び 個別リハビリ)) 	◆機能訓練の充実を図りました
外部研修参加	<ul style="list-style-type: none"> ○ 認知症介護実践者公開講座:都実施 H21.5 ○ 認知症介護実践者公開講座:都実施 H21.6 ○ 認知症介護実践者公開講座:都実施 H21.9 ○ 自動車運転職員 安全運転研修 H21.11. H22.12 ○ 高齢者権利擁護推進事業管理者研修 H21.11 ○ 高齢者権利擁護推進事業管理者研修 H21.12 ○ 認知症介護実践者研修:都実施 H22.2 	<ul style="list-style-type: none"> 2名(介助員) 2名(介助員) 2名(介助員) 4名(運転職員) 1名(管理者) 1名(フロアリーダー) 2名(介助員)
ボランティア等受入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三菱東京UFJ銀行新任研修ボランティア体験受け入れ(5月、2回) ○ 明星大学社会福祉現場実習ほか社会福祉士養成実習生受け入れ(8月~11月、全10回) ○ 市立立川第三中学校職場体験受け入れ(7月) ○ 夏体験ボランティア受受け入れ(8月) ○ 市立立川第五中学校職場体験受け入れ(9月) ○ 市立立川第一中学校職場体験受け入れ(10月) ○ 市立第四小学校総合学習受け入れ(12月) ○ 市立立川第二中学校職場体験受け入れ(2月) ○ 都立北多摩高等学校奉仕体験学習受け入れ(全6回) ○ 星槎学園実習受け入れ、ボランティア活動受け入れ ○ 若者サポート受け入れ ○ 傾聴ボランティア受入(毎月) ○ 愛光保育園(園児と高齢者の交流) 	◆市内小中学校を中心に、幅広く体験学習等の受け入れを実施しました。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立川市通所介護リハビリ事業者連絡会(幹事会) 通年参加 ○ 小地域ケア会議 参加 ○ 結核接触者健診:多摩立川保健所 ○ 立川市国立市救急業務連絡協議会 参加 ○ 福祉サービス第三者評価 受診【NPO法人メイアイヘルプユ-】(※) 	対象者受診

3. 特記事項

◎「サービス提供時間の拡大」(※)

H21年度は6月より、これまでのサービス提供時間枠の見直しをし、「4時間以上6時間未満」⇒「6時間以上8時間未満」へとサービス時間の拡大を実施しました。これにより、『午後の活動プログラムの充実』、『入浴利用枠の拡大』、『機能訓練の充実』を図りました。併せて、送迎車両を2台⇒3台に増便し、送迎時間の短縮に努めました。

◎「サービス提供体制加算2」の取得

21年度法改正により、従業員(介護職員)における、『3年以上勤務継続職員』の比率が全体の30%以上であることの評価としての加算「サービス提供体制加算2」を取得しました。

◎「処遇改善交付金」の申請

3年間の期限付き制度「処遇改善交付金」について、初年度は21年10月～1月の4ヶ月間を対象に交付金を申請しました。(2月以降は22年度分として申請となります)

◎「福祉サービス第三者評価」(※)

『NPO法人メイアイヘルプユー』による第三者評価を受診しました。看護師と各リーダー(一般型、認知症対応型それぞれにフロアリーダーを配置)による業務改善のための取組み、また、18年度受診時に指摘された事項である「入浴枠の拡大」や「利用時間枠の拡大」等、利用者の声の反映による改善が評価されました。一方で、センターのボイラー不備により、「利用者から湯温が低いことがあった」などの改善がなかなか実現できていないこと等について、新たな指摘を受け、事務局を通してセンター管理の改善点を立川市に報告しました。

X 訪問介護事業

要支援、要介護認定を受けた高齢者が、自立した日常生活を営むことができるよう、訪問介護事業所を経営し、身体介護や生活援助サービスを提供しました。

■組織体制 【在宅サービス係】職員 2 名、常勤嘱託 6 名、短期間雇用職員 53 名
 ■事業執行経費 約 57,000 千円

1. 利用実績

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
介護予防訪問介護利用者数		42	41	41	42	43	41		
訪問介護利用者数		90	92	91	91	94	95		
利用者数合計		132	133	132	133	137	136		
時間数	介護予防	356.5	329.5	351.0	369.0	366.0	364.0		
	身体介護	608.5	595.5	632.5	620.5	539.5	609.5		
	生活援助	999.5	1005.0	997.0	974.5	914.5	997.5		
	合計	1964.5	1930.0	1980.5	1964.0	1820.0	1971.0		
項目		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
介護予防訪問介護利用者数		42	40	40	41	39	38	490	101.0%
訪問介護利用者数		92	93	93	90	87	91	1099	93.1%
利用者数合計		134	133	133	131	126	129	1589	95.4%
時間数	介護予防	401.0	353.0	391.0	353.0	338.0	354.5	4326.5	103.9%
	身体介護	622.0	546.5	579.0	503.0	487.0	591.0	6934.5	85.3%
	生活援助	1017.0	963.0	979.5	883.5	874.5	1055.0	11660.5	93.0%
	合計	2040.0	1862.5	1949.5	1739.5	1699.5	2000.5	22921.5	92.3%

2. 会議や研修など

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)ヘルパー研修	全体研修（全4回） ○H21.4.1(水) ヘルパーの心得 グループワーク ○H21.6.30(月) 動作介助(身体介護) 講師:「動作介助研究会」 ○H21.10.30(金) 認知症 講師: 山本繁樹(社協地域包括支援センター) ○H22.2.26(金) うつと自殺防止のために職員(ヘルパー)ができること 講師: 内部CN(監修: 市民活動センターたちかわ) グループ別研修（全7回） ○H21. 5.29(金) グループ別オリエンテーション、個人目標設定 ○H21. 7.31(金) 感染症について ○H21. 8.31(月) ヒヤリハット事例検討(台風の為中止) ○H21. 9.30(金) グループ別「3B体操」、「調理実習」、「動作介助」 ○H21.11.30(月) ヒヤリハット事例・介護における医療行為について ○H21.12.31 (木) 防災研修 ○H22. 1.29(金) 事例検討(記録の書き方) ○H22. 3.19(金) グループ総まとめ、(ヘルパー交流会(業務外))	◆全体研修 ヘルパー42名出席 ◆グループ研修 3グループにて実施 ◆ほぼ毎月会議とヘルパー全体による研修を実施することができました。(特定事業所としての評価実績となりました)(※)
(2)会議	○サービス提供責任者(CN)会議(月1回) ○サービス提供責任者 業務改善(GK)会議(月1~2回)	業務時間内会議を定期開催しました

(3)外部研修参加	○医療ニーズの高い利用者への対応研修 H21.5.23	2名
	○難病基礎過程Ⅱ研修 H21.6.18	2名
	○サービス提供責任者研修セミナー H21.5.17~18	1名
	○介護支援専門員現任研修	2名
	○居宅事業者連絡会「介護報酬改定」研修 H21.6.26	1名
	○「認知症高齢者の環境を活かした支援」研修 H21.7.13	2名
	○介護職員処遇改善交付金の対応を考えるセミナー H21.8.26	1名
	○サービス提供責任者のための記録に関する研修 H21.9.16	1名
	○東京都高齢者権利擁護研修 H21.12.17	1名
	○知的障害者(児)移動介護従事者養成研修 H21.10.29~30	1名
	○高齢者ケア研究会「1人暮らし高齢者支援」	1名
○難病基礎過程Ⅱ研修 H21.12.2	2名	

3. 特記事項

◎「求人広告」の掲載

H21年度はヘルパー人材不足により、サービス提供時間数の減少となったため、フリーペーパー、折り込み広告等の求人媒体などの活用により人材獲得に努めました。

◎「特定事業所Ⅱ」の取得（※）

21年度法改正により要件が改められた加算について、従業員（介護職員）による『毎月の会議・研修等の開催』、『業務伝達』、『すべてのサービス提供責任者が介護福祉士』等の要件を満たしたため、特定事業所加算（Ⅱ）を取得しました。

◎「処遇改善交付金」の申請

3年間の期限付き制度「処遇改善交付金」について、初年度は21年10月～1月の4ヶ月間を対象に交付金を申請しました。（2月以降は22年度分として申請）

◎ヘルパーコーディネーター（サービス提供責任者）職員1名が産前・産後休暇に引き続き、育児休業中に入り、コーディネーター業務及び介護請求事務等について、元コーディネーター経験者への業務委託をしました。

X I 生活介護支援事業

地域において就労の機会等が得がたい在宅重度障害者が通所し、機能訓練、文化的活動、日常生活訓練等を行うことにより、その自立を図ると共に生きがいを高めることを目指します。

■組織体制 【通所福祉係】職員 3 名、月額嘱託 3 名、短期間雇用職員 24 名
 ■事業執行経費 約 58,900 千円

■生活介護支援事業所利用状況(定員 40 名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
月初日在籍者数	39	39	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	448	37.3
開所日数(日)	21	20	21	22	21	20	22	18	19	19	19	21	243	20.3
延べ利用者数(人)	633	602	619	652	559	589	644	522	554	568	562	605	7,109	592.4

■生活介護支援事業所:障害程度区分別登録者数(定員 40 名)

障害程度区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分3(人)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
区分4(人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
区分5(人)	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
区分6(人)	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
合計(人)	39	39	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37

生活介護支援事業所(身体障害者デイルーム:マンボウ) ■

1. 利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
月初日在籍者数	19	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	19	236	19.7
開所日数(日)	21	18	22	22	21	19	21	16	19	19	19	22	239	19.9
総利用者数(人)	351	300	373	385	344	328	330	236	322	308	312	366	3,955	329.6

緊急一時保護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用回数(回)	15	14	17	17	15	15	15	9	9	8	11	12	157	13.1
利用者数(人)	8	6	9	8	6	9	7	5	5	4	6	6	79	6.6
利用時間(時間)	59.0	63.0	59.0	69.0	64.0	62.0	59.5	34.0	34.0	30.5	43.0	106.0	683.0	56.9

障害程度区分別利用状況

障害程度区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分3(人)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
区分4(人)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
区分5(人)	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
区分6(人)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	177

2. 活動実績

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)PT(理学療法)	東京小児療育病院所属の理学療法士より指導を受ける ・6回実施	◆基本動作能力の機能回復・維持を目的に、動きの悪くなった関節の可動域拡大や筋肉低下に対する強化、体力の維持・向上を図りました。
(2)OT(作業療法)	東京小児療育病院所属の作業療法士より、指導を受ける ・6回実施	◆日常生活の諸動作に必要な心身機能の回復・維持を図りました。 ◆利用者の加齢に伴い、自助具から支援方法まで多くの見直しを行いました。特に訓練前のマッサージなどのサポートの強化も図り、筋緊張の軽減などの効果が見られました。
(3)プール活動	プールを利用し、全身運動を行う ・週2回実施	◆日常生活では使わない低下した筋力の向上およびリラクゼーションの一環として実施しました。 ◆加齢により、これまでのトレーニングが難しくなった利用者の運動量の維持など効果を挙げてきました。
(4)調理活動	調理室とランチルームにて実施 ・月2回実施	◆メニュー決めから、買出し、準備、調理、片付けと一貫した活動をとおして、社会体験と社会性の育成を図りました。
(5)足浴	デイルームにて ・毎週火曜日・木曜日に実施	◆車椅子の生活による関節の硬化等に対してのマッサージやリラクゼーションを提供。体幹機能の促進を目的に実施しました。
(6)半日外出	グループに分かれて実施 グループに分かれて実施 ■お花見(昭和記念公園) ○4月6日参加者5名 ○4月7日参加者4名 ○4月8日参加者4名 ○4月9日参加者4名 ○4月13日参加者4名 ○4月15日参加者4名 ■電車利用体験(西立川～立川駅間)と立川駅周辺散策 ○5月25日参加者2名 ○5月27日参加者3名 ○6月1日参加者3名 ○6月4日参加者2名 ○6月10日参加者2名 ○6月16日参加者2名 ○6月17日参加者2名	◆市内外の施設等へ出掛け、社会経験の幅を広げるよう支援しました。

<p>(7)一日外出</p>	<p>グループに分かれて実施</p> <p>■ボウリング又はカラオケ(東大和BIG BOX)</p> <p>○6月9日参加者3名 ○6月10日参加者3名 ○6月19日参加者3名 ○6月23日参加者3名 ○9月3日参加者3名 ○9月17日参加者2名 ○9月24日参加者3名</p> <p>■映画鑑賞(立川シネマシティ)</p> <p>○7月23日参加者2名</p> <p>■映画鑑賞(昭島MOVIX)</p> <p>○7月28日参加者3名 ○7月30日参加者3名 ○8月4日 参加者3名 ○8月5日 参加者3名 ○8月10日参加者2名 ○8月13日参加者3名</p> <p>■ボウリング又はカラオケ(東大和BIG BOX)</p> <p>○6月9日参加者3名 ○6月10日参加者3名 ○6月19日参加者3名 ○6月23日参加者3名 ○9月3日参加者3名 ○9月17日参加者2名 ○9月24日参加者3名 ○10月3日参加者2名 ○10月16日参加者3名 ○10月19日参加者3名 ○10月22日参加者3名 ○10月27日参加者3名 ○11月11日参加者3名 ○11月12日参加者3名 ○12月16日参加者2名</p> <p>■外食(ダイヤモンドシティ)</p> <p>○1月12日参加者3名 ○1月18日参加者3名 ○2月4日参加者3名 ○2月10日参加者3名</p>	<p>◆市内外の施設等へ出掛け、社会経験の幅を広げるよう支援しました。</p>
<p>(8)超一日外出</p>	<p>グループに分かれて実施</p> <p>■葛西臨海水族園(江戸川区葛西)</p> <p>○5月15日参加者2名</p> <p>■河口湖オルゴールの森(山梨県河口湖町)</p> <p>○5月19日 参加者2名 ○6月9日 参加者2名 ○6月15日参加者2名</p> <p>■東京タワー(港区芝)</p> <p>○7月3日参加者2名</p>	

	<p>■ぶどう狩り浅間園(山梨県笛吹市)</p> <p>○9月8日 参加者2名</p> <p>○9月17日 参加者2名</p> <p>○9月28日 参加者1名</p> <p>■大宮鉄道博物館(さいたま市)</p> <p>○10月7日 参加者2名</p> <p>○3月8日 参加者2名</p>	
(9)音楽	<p>利用者自身が選曲した曲をかけ、発声したり、楽器を鳴らしたりそれぞれに音楽を楽しむ。</p> <p>○週1回実施</p> <p>○8月～10月は週1回、音楽大学実習生による演奏会実施</p>	<p>◆利用者のリフレッシュ、レクリエーションを目的に実施。各自の好きな音楽を探し、実践することにより他の活動においても自身の意思を示されるようになっていきます。</p> <p>◆生演奏を聴くことで、利用者の楽器に対する興味など普段と異なる表情が見られました。</p>
(10)避難訓練	<p>利用者、職員に対して、毎月1回避難誘導等の訓練を実施する</p> <p>○月1回実施</p>	<p>◆継続的に行うことで災害時にすばやい避難を可能にするよう実施。定期的に行うことで、職員が手順などを覚え、すばやい行動が取れるようになってきました。</p>
(11)レクリエーション	<p>職員が考えたゲーム等を行う</p> <p>○5月 シーツバレー、7月 七夕、9月 カキ氷大会 11月 ペットボトルボウリング 1月 神経衰弱(カードゲーム)</p>	<p>◆集団で行うゲームを通して協調性を身につけ、集団の中で自己決定および意思表示を行う経験を得ることを目的としています。</p>
(12)季節行事	<p>季節行事や季節にあったお菓子を作る</p> <p>○4月 お花見、7月 七夕、9月 カキ氷大会</p> <p>12月 クリスマス会、1月 新年会 2月 節分</p> <p>3月ひなまつり</p>	<p>◆行事準備を自ら行うことで、参加しつくりあげる経験を得て、協調性および主体性を養うために実施しています。</p>
(13)健康相談	<p>嘱託医による健康相談を行う</p> <p>○6月24日 受診者5名</p> <p>○8月31日 受診者3名</p> <p>○12月14日 受診者3名</p> <p>○3月31日 受診者2名</p>	<p>◆利用者の健康保持等、適切な支援のため実施しました。</p>
(13)お菓子作り	<p>調理室とランチルームにて実施</p> <p>・毎月1回実施</p>	<p>◆メニュー決めから、買出し、準備、調理、片付けと一貫した活動をとおして、社会体験と社会性の育成を図りました。</p>
(14)家族懇談会	<p>○3月18日 家族参加者14名</p>	<p>◆21年度活動報告。22年度の活動方針等について提案しました。また、家族参加のイベントとしてそば打ち(そば打ち友の会の協力)体験を開催しました。</p>

3. 地域交流活動

事業名等	実績(実施日など)	評価等
------	-----------	-----

(1)四小まつりへの参加	紙すきはがき作り体験、車椅子体験などを行う ○7月18日実施	◆地域の小学校へのイベント参加により障害者への理解、啓発活動に繋がりました。
(2)三小まつりへの参加	紙すきはがき作り体験、車椅子体験などを行う ○10月31日実施	◆地域の小学校へのイベント参加により障害者への理解、啓発活動に繋がりました。
(3)地域との交流行事	障害者デイサービスセンター夏祭り ○8月21日実施	◆イベント開催することで、地域住民への啓発活動に繋がりました。
(4)歯ミカップ	11月5日 利用者1名 職員1名	◆歯磨き支援の活動報告と他施設との交流、情報交換の場になりました。
(5)施設交流会	小平障害者センターとの交流 ○2月26日 参加者5名	◆他施設の利用者との交流を通じて、出会いによる新たな発見を得ることをねらいとしています。
(6)ボランティア・市民団体との交流	○そば打ち友の会 3月18日	◆市民活動団体との交流活動により、親睦を図るとともに、啓発の一貫にも繋がりました。

4. 実習生等の受け入れ

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)東京都立村山特別支援学校実習生受け入れ	実習生の受け入れ ○7月6日～7月10日 男性1名受け入れ ○11月15日 女性1名受け入れ ○2月15日～19日 男性1名受け入れ	
(2)東京都立武蔵台特別支援学校実習生受け入れ	実習生の受け入れ ○6月15日～6月26日 女性1名受け入れ ○11月2日～6日 女性1名受け入れ	
(3)実習生受け入れ	<p>■「教員免許法の特例による介護等体験事業」における介護体験</p> <p>○8月3日～8月7日 男性1名・女性1名 8月10日～8月14日 女性2名 8月17日～8月21日 女性1名 8月24日～8月28日 女性2名 8月31日～9月4日 女性2名 9月7日～9月11日 女性2名 9月14日～9月18日 男性1名・女性3名 9月28日～10月2日 女性3名</p> <p>■社会福祉士受験資格取得のための実習生</p> <p>○8月19日～8月21日 女性1名 8月26日～8月28日 女性1名 9月1日～9月3日 女性1名 9月14日～9月15日 女性1名 9月24日～9月25日 男性1名 9月28日～9月30日 女性1名 10月5日～10月6日 女性1名</p>	

生活介護支援事業所(知的障害者デイルーム:コスモス)■

1. 利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
月初日在籍者数(人)	20	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21	20	246	20.5
開所日数(日)	21	18	22	22	21	19	21	19	19	19	19	22	242	20.2
総利用者数(人)	327	257	351	360	332	340	350	277	319	333	332	346	3,924	327.0

緊急一時保護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
利用回数(回)	10	9	14	11	7	10	4	1	6	7	3	4	86	7.2
利用者数(人)	4	4	6	5	3	5	2	1	4	5	1	2	42	3.5
利用時間(時間)	46.00	41.00	61.50	45.00	27.00	43.50	16.50	2.50	22.00	31.50	16.50	21.00	374.0	31.2

障害程度区分別利用状況

障害程度区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分3(人)	5	5	5	5	5	4	3	2	2	2	2	2	42
区分4(人)	4	4	4	3	3	5	7	8	8	8	8	8	70
区分5(人)	7	7	7	8	7	7	6	6	6	6	6	6	79
区分6(人)	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	4	55

2. 活動実績

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)音楽療法	音楽療法士の指導により実施。 ・毎月2回実施	◆音楽の持つ生理的、心理的、社会的機能を用いて、心身機能の維持改善、生活の質の向上を図りました。特に情緒不安定、多動な方が落ち着いてプログラムに参加できていました。
(2)PT(理学療法)	東京小児療育病院所属の理学療法士より指導を受ける ・年4回実施	◆基本動作能力の維持を目的に体力の維持・向上を図りました。
(3)OT(作業療法)	東京小児療育病院所属の作業療法士より指導を受ける ・年2回実施	◆日常生活の諸動作に必要な心身機能の回復・維持を図りました。特に身体と知的障害を併せ持つ方の介助の注意点について、具体的な目標を立案することができました。
(4)避難訓練	利用者、職員に対して、毎月1回避難誘導等の訓練を実施した ・毎月1回実施	◆継続的に行うことで、すばやく行動することが出来るようになってきました。
(5)調理	調理室とランチルームにて実施。 ・毎月1回実施	◆調理活動をとおして、準備、片付けなど日常生活に必要な動作を経験しました。

(6)お菓子作り	調理室とランチルームにて実施。 ・毎月1回実施	◆お菓子を作り、食べて楽しむことを目標に実施しました。
(7)プール活動	健康運動指導士による指導を受け実施。 ・年8回実施	◆水の抵抗や水圧、浮力を活かして水中運動を行うことにより、体力の維持・向上を図るよう実施しました。特に情緒不安定な方に対する水中でのリラックス効果が顕著に見られました。
(8)健康体操	健康運動指導士による指導を受け実施。 ・年12回実施	◆バランスボールやゴムボールを使用した体操を行い、体力の維持・向上を図るよう実施しました。特に多動な方が落ち着いて活動に参加することができました。
(9)一日外出	<p>■羽村動物園(雨天時:所沢航空発祥記念館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月8日 参加者3名 ・5月15日 参加者2名 ・5月19日 参加者2名 ・5月20日 参加者3名 ・5月21日 参加者2名 ・5月22日 参加者2名 <p>■多摩六都科学館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月6日 参加者2名 ・10月9日 参加者3名 ・10月14日 参加者3名 ・10月28日 参加者2名 ・10月29日 参加者2名 ・11月13日 参加者3名 <p>■その他一日外出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月26日 参加者2名(鉄道博物館) ・7月8日 参加者2名(日本科学未来館) ・9月25日 参加者2名(江戸東京博物館) ・10月20日 参加者1名(葛西臨海公園) ・11月13日 参加者1名(江戸東京博物館) ・12月10日 参加者2名(日本科学未来館) ・1月20日 参加者2名(日本科学未来館) 	◆市外の施設などへ出かけ、社会参加の幅を広げることを目標に実施。行動範囲、趣味趣向が広がる利用者が見られました。
(10)健康相談	嘱託医により実施 ・6月24日 利用者4名 ・8月31日 利用者3名 ・12月14日 利用者4名 ・3月31日 利用者6名	◆相談結果により、病院にて詳細な検査をするなど、利用者の健康に対する意識が高まりました。
(11)健康診断	多摩立川保健所にて実施 ・6月8日 利用者3名 ・7月13日 利用者3名 ・7月27日 利用者3名 ・8月3日 利用者2名 ・8月24日 利用者2名 ・8月31日 利用者2名	◆利用者の健康保持など、適切な支援のために実施しました。

(12)家族懇談会	活動方針、自立支援法についての説明 ・コスモス、マンボウ合同で2回実施 12月24日 参加者6名 3月18日 参加者13名(マンボウと合同で実施)	◆法改正による変化、今後の活動方針等について説明しました。
-----------	--	-------------------------------

3. 地域交流活動

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)ボランティア・市民団体との交流	・6月18日 フラダンスグループ6名 ・9月16日 NPO 法人ゆうゆう6名(ムーブメント) ・12月24日 虹の音楽隊7名 ・3月18日 そばうち友の会7名	◆経験をすることにより社会経験、趣味の向上を図りました。
(2)ボランティア	・8月21日 パティシエ1名(地域交流会の手伝い)	
(3)歯ミカップ	11月5日 利用者1名 職員1名	◆利用者の歯科に対する意識が高まったとともに、職員の意識および技術の向上につながりました。

4. 実習生等の受け入れ

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)職場体験	・立川第八中学校 2名(9月8日～10日) ・立川第二中学校 2名(2月2日～4日)	
(2)特別支援学校生徒現場実習	■都立武蔵台特別支援学校 ・6月15日～19日 1名 ・10月13日～16日 1名 ・10月19日～23日 1名 ・11月2日～6日 1名 ・11月16日～20日 1名 ■都立羽村特別支援学校 ・11月30日～12月2日 1名	
(3) 実習受け入れ	西東京歯科衛生士専門学校臨床実習 ・10月23日 5名 ・10月26日 5名	

生活介護支援事業所・101・102 デイルーム合同行事 ■

事業名等	実績(実施日など)	実績(実施日など)
(1)四小まつりへの参加	紙すきはがき作り体験、車椅子体験などを実施 ・7月18日参加	◆地域の小学校のイベントに参加。小学校の保護者や地域の方々に事業の紹介及びボランティアの募集を行いました。また、車椅子体験では、実際に体験していただくことで、障害者に対する理解を深めました。
(2)三小まつりへの参加	紙すきはがき作り体験、車椅子体験などを実施 ・10月31日参加	
(3)地域交流行事	立川市総合福祉センターにて、障害についての啓発や利用者参加による喫茶店を実施 ・8月21日	◆地域の方々に事業の紹介並びにボランティア参加の機会を提供し、交流を深めました。

ⅩⅡ 福祉サービス総合支援事業

「地域あんしんセンターたちかわ」では、判断能力の低下により日々の生活に何らかの不安を抱えている市民(高齢者や障害者等)が、適切な福祉サービス等を利用しながら安心して生活できるよう、福祉サービスの利用にかかる総合相談や苦情相談の受付、日常生活自立支援事業、成年後見制度利用支援事業と同制度の普及・推進、法人後見人の受任などを実施しました。センター運営については、成年後見制度の推進機関も兼ねた運営委員会を設置、運営をして、以下の事務事業を行いました。

<p>■組織体制 運営委員 8名 【地域あんしんセンター係】職員 4名、月額嘱託 3名、短期間雇用職員 1名 ■事業執行経費 約 44,000 千円</p>
--

1. 運営委員会によるセンター運営

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)運営委員会	<p>専門職や地域の関係機関により構成された運営委員会を設置して、センターの運営方針や事業計画、法人後見受任や援助困難ケース等について専門的、中立的、客観的な視点から助言・検討など、成年後見制度推進機関としての機能を兼ねて行いました。</p> <p>■第1回6月30日 運営委員委嘱状交付、実績報告、ケース報告・検討あいプラ策定に伴う検討等</p> <p>■第2回7月28日 実績報告、ケース報告・検討、あいあいプラン策定に伴う検討等</p> <p>■第3回10月28日 実績報告、ケース報告・検討、あいあいプラン策定に伴う検討等</p> <p>■第4回11月24日 実績報告、ケース報告・検討、あいあいプラン策定に伴う検討等</p> <p>■第5回1月26日 実績報告、あいあいプラン活動計画について、ケース報告・検討等</p> <p>■第6回3月25日 実績報告、あいあいプラン計画素案について、ケース報告・検討等</p>	<p>◆委員構成 学識経験者、行政、医師、弁護士、民生委員、社会福祉士、障害者関係団体、基幹地域包括支援センター 8名</p> <p>事業運営にあたり、委員の方からの客観的な助言や評価を受けることでより効果的な事業が実施できました。</p>

2. 総合相談事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
------	-----------	-----

(1)総合相談の受付	<p>介護保険や障害者自立支援法等の福祉サービス利用、権利擁護や成年後見制度などに関する総合相談の受付を行い、対応を図りました。(電話、来所、訪問)</p> <p>■総合相談件数 184件(初期相談)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業 59件 ・成年後見制度 81件 ・苦情 4件 ・障害者自立支援 1件 ・入居支援福祉制度 13件 ・その他 26件 	<p>◆高齢化やさまざまな障害等による判断能力の低下から、生活に何らかの支障をきたした市民が増加しています。このような中、親族や地域包括支援センター、ケアマネジャー等の関係機関からの成年後見制度利用や悪質商法被害など権利擁護に関する相談が増加しており、市民への被害の防止、権利侵害の排斥に寄与しました。</p>
(2)苦情対応窓口の設置	<p>福祉サービスの利用が利用者と事業者の契約による対等な関係で利用できるよう、福祉サービスの利用に関する苦情等相談を受け付けました。</p> <p>■苦情相談受付件数(総合相談受付) 4件</p>	<p>◆各事業所や関係機関等で対応されている現状があり、相談件数は少数ですが、福祉サービスの適切な提供と利用に寄与しました。</p>
(3)相続相談の実施	<p>相続に関する親族間の紛争解決や死後の財産等の自己決定の支援などの専門相談として、相続アドバイザー協議会の協力により実施しました。(毎月第2、第4火曜日午後 伊勢丹あいあいステーション)</p> <p>■相談件数 47件</p>	<p>◆財産の相続に悩んでいる市民や相続によって親族間の紛争を抱えている市民は多くなっています。相続相談の実施によって自己決定の尊重や親族間の紛争解決を導くことに効果がありました。</p>

3. 日常生活自立支援事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)日常生活自立支援事業	<p>高齢者や障害者等で判断能力が不十分であるため、自己選択や自己決定が難しい市民が安心して生活できるよう、福祉サービスの利用支援や日常的な金銭管理サービス、重要な書類等の預かりサービスを実施しました。</p> <p>■日常生活自立支援事業</p> <p>新規件数 12件 (高齢者9件、知的障害者2名、精神障害者1件)</p> <p>解約件数 9件(高齢者8件、精神障害者1件)</p> <p>契約件数 65件(H22年3月末)</p> <p>■生活支援員連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月19日 事務連絡、介護保険、支援員業務等について ・12月3日 認知症サポーター養成講座、支援員業務等について <p>■北多摩西部ブロック生活支援員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月22日 ケース検討、情報交換等 	<p>◆福祉サービスの利用契約など制度が複雑化し、その利用や利用料の支払いなどに不安を抱えている市民は多いと思われます。事業の普及を図り、より適切なサービス利用や権利侵害の防止などに努めました。解約件数のケースについては、成年後見制度への移行等がありました。</p>

4. 成年後見制度利用支援事業及び普及、推進

事業名等	実績(実施日など)	評価等
------	-----------	-----

<p>(1) 成年後見制度利用支援事業</p>	<p>成年後見制度の概要や利用、申立て等に関する相談支援を行いました。成年後見制度専門相談については、司法書士会の協力により伊勢丹あいあいステーションで実施しました。また、地域の団体などの要請に応じた出前講座講師派遣や講演会の開催により成年後見制度の普及に努めました。また、親族や市長申立ての手続き支援や後見人等候補者選定の支援を行いました。</p> <p>■相談件数(総合相談受付)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口相談 80件(電話、訪問含) <li style="padding-left: 2em;">内専門相談 9件(毎月第2土曜日午後) <p>■出前講座講師派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター介護予防教室 「成年後見制度の概要」 <p>■講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月26日 「‘活用しよう’成年後見制度」 「よくわかる成年後見制度」 ～市民交流大学推進委員会主催 参加者133名 ・12月3日 「家族として、専門職として、 それぞれの立場で感じる成年後見制度」 参加者57名 ・3月18日 「安心して老いるための準備」 ～地域包括支援センター共催 参加者35名 	<p>◆成年後見制度に関する相談は、年々増加していますが、同制度に関する普及や理解などは、まだ十分とは言えません。そのため、窓口等相談に加えて司法書士による専門相談や出前講座、講演会等を実施して、今後も市民への周知を図っていきます。</p>
<p>(2) 成年後見制度の普及・推進</p>	<p>地域あんしんセンターたちかわ運営委員会を成年後見制度推進機関として位置付け、行政及び各関係機関等と連携して成年後見制度の普及・推進に努めました。</p> <p>■後見人等連絡会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ～各専門職の方々のご協力で、連絡会の開催に向けた検討をいただく幹事会が設置できました。 ・7月27日 成年後見制度の現状報告、意見交換等 ・12月2日 事務連絡、連絡会のテーマに関する意見交換等 ・3月10日 市長申立ての概要、法人後見事例紹介等 <p>■親族後見人等の相談</p> <p>個別に相談を受け、対応しました。</p>	<p>◆「東京都成年後見制度活用あんしん生活創造事業」に基づき実施しています。</p> <p>市民の成年後見人等として受任、また受任予定の方々と行政、地域の関係機関等とのネットワークを形成して、成年後見制度の普及推進に寄与しました。</p>
<p>(3) 成年後見制度における法人後見人の受任</p>	<p>親族や他に適切な後見人等がない市民に対して、本会が法人として後見人等を担いました。受任にあたっては運営委員会で検討し、その助言、指導に基づき会長が決定しています。</p> <p>■法人後見等受任件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規受任件数 後見1件(精神) ・終了件数 後見1件(精神) ・受任件数 14件(H22年3月末) <li style="padding-left: 2em;">後見 11件(高齢 7件、精神 3件、知的 1件) <li style="padding-left: 2em;">保佐 2件(精神 2件) <li style="padding-left: 2em;">補助 1件(精神 1件) 	<p>◆身寄りがいない、または疎遠であり、判断能力の低下から訪問販売被害や多重債務に陥っているなど生活に不安を抱えている市民が増加しています。適切な後見人等がない市民に対して、社協が法人として後見人等を受任して、その人の権利を護っていくことは意義深いと考えています。</p>

(4)東京都成年後見人等養成事業への協力	<p>東京都が実施する「社会貢献型後見人養成講習」の修了者を日常生活自立支援事業の生活支援員や法人後見の履行補助者として受入れています。また、東京都などで実施する連絡会や研修会の開催周知や参加の取りまとめを行いました。</p> <p>■受入れ人数 3名(2名休) ～他市在住のため実習として受け入れています。</p>	<p>◆成年後見制度の第三者後見人等が不足する中、東京都が実施する養成事業に協力して、修了者を受入れていくことは、今後の市内における成年後見制度活用の推進など大きな効果が期待されます。</p>
----------------------	--	--

5. たちかわ入居支援福祉制度

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)たちかわ入居支援福祉制度	<p>判断能力が不十分な高齢者や障害者等が民間賃貸住宅の入居、または契約更新の際に、親族等の適切な保証人のいない市民を対象に日常生活自立支援事業の契約と合わせて保証人となり、生活サポートを行いながら地域での安定した生活が継続できるよう支援しました。また行政担当者、及び協力事業者との連絡会を実施し、利用者の状況や課題等の共有、調整を行いました。</p> <p>■相談件数(総合相談受付) 13件 ■契約者 5名 (新規:高齢者2件、解約:精神障害者1件)</p>	<p>◆精神障害者の社会的入院の解消や身寄りのない高齢者などが、民間賃貸住宅を借りることができないような権利侵害を防ぐために、行政と連携して住宅保証人制度「たちかわ入居支援福祉制度」を実施しています。</p> <p>日常生活自立支援事業と合わせて生活サポートを行い、住み慣れた地域での生活を支援しています。</p>

6. 関係機関とのネットワークの形成

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)連絡会への参加	<p>各種連絡会へ参加をして事業運営に関する情報収集やネットワークの形成を図り、市民の権利擁護や困難ケース等の課題解決できるように努めました。</p> <p>■東京都関係 4件 ■東京都社会福祉協議会関係 3件 ■立川市、地域包括支援センター関係 6件 ■その他関係機関との連絡会 3件 ※詳細は別記</p>	<p>◆各種連絡会等への参画を通して、関係機関とのネットワークの形成を図り、立川市の権利擁護支援システムの充実と共に、職員のスキルアップにも努めています。</p>
(2)支援困難ケース等への対応	<p>虐待や悪質商法被害など支援困難ケースへの対応として、成年後見制度等を活用した支援を行政や関係機関等と連携して取り組みました。</p> <p>■「高齢者虐待防止ネットワーク連絡会」への参加 ■ケースカンファレンス等への参加</p>	<p>◆虐待対応については、「高齢者虐待対応マニュアル」に基づいて支援を行いました。関係者等と連携してネットワークを形成し、権利擁護関連の推進機関として関わりを深めていくことは今後さらに重要になると考えています。</p>
(3)その他	<p>センター業務における取組みとして、各種研修会へ積極的に参加して職員のスキルアップに努めました。また、他県他市からの視察等の受入れや講師派遣等を行い、立川市の権利擁護支援システムや事業周知等を行いました。</p> <p>■各種研修会参加 ・東社協地域福祉権利擁護事業専門員、業務担当者、生活支援員各研修、苦情対応機関研修、対人援助研</p>	<p>◆研修会への参加、また視察対応や講師として立川市の権利擁護支援システムや事業の説明、周知の機会を持つことで、社協及び権利擁護関連の担当職員としてのスキルアップが期待でき、地域あんしんセンターの事業の充実に努めました。</p>

	<p>修、生活福祉資金担当者研修、運営管理研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全社協専門員研修、虐待防止権利擁護セミナー、ソーシャルワーク研修 ・都成年後見制度基礎研修、専門研修 ・多摩立川保健所研修 ・多摩精神保健センター研修 ・心身障害者福祉センター研修 ・市介護支援専門員研修 ・地域福祉コーディネーター研修 ・神奈川県社協専門員研修 ・認知症勉強会 ・実習指導者研修 ・その他各種研修 ・外部講師による内部研修 <p>※その他、視察の受け入れや他団体主催の研修等に講師として職員を派遣しています(別記)</p>	
--	--	--

ⅩⅢ 自立支援ホームヘルプサービス事業

障害者自立支援法の施行により、三障害の統一されたサービス提供が行われることになりました。従来の支援費制度下で、当事業所は身体障害者、精神障害者に限ってサービス提供を行ってきましたが、19年4月より知的障害者へのサービス提供ができるように東京都へ申請しました。移動支援事業での相談、実績がありました。

- 組織体制【在宅サービス係】月額嘱託1名、短期間雇用職員10名
- 事業執行経費 約8,000千円

1. 居宅介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年	
身体障害者 利用者数 (a)	10	10	11	12	10	11	11	13	14	14	15	14	145	130	
時間数	身体介護	7.5	6.5	14.5	11.0	6.0	9.5	8.5	10.0	12.0	30.0	38.0	34.5	188.0	201.0
	家事援助	131.0	119.0	154.5	166.0	146.0	157.5	160.0	171.5	197.5	190.5	194.5	207.0	1995.0	1738.0
	通院介助 (身体介護あり)	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	7.5	25.0
	通院介助 (身体介護なし)	4.5	3.5	2.5	3.0	0.0	2.5	3.5	4.0	4.0	20.0	36.0	31.5	115.0	33.5
	合計 (A)	143.0	129.0	171.5	184.5	152.0	171.0	172.0	185.5	215.0	240.5	268.5	273.0	2305.5	1997.5
精神障害者 利用者数 (b)	12	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	125	161	
時間数	身体介護	14.5	15.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	4.5	0.0	37.5	124.0
	家事援助	101.0	86.0	96.0	93.5	74.5	75.5	78.0	72.5	84.5	65.0	69.0	82.5	978.0	1276.0
	通院介助 (身体介護あり)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	通院介助 (身体介護なし)	5.5	0.0	3.5	3.5	3.0	4.0	3.0	3.0	0.0	3.0	0.0	4.0	32.5	48.0
	合計 (B)	121.0	101.5	101.0	97.0	77.5	79.5	81.0	75.5	84.5	69.5	73.5	86.5	1048.0	1448.0
知的障害者 利用者数 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
時間数	身体介護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家事援助	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	通院介助 (身体介護あり)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	通院介助 (身体介護なし)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計 (C)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
利用者数合計 (a+b+c)	22	21	22	23	20	21	21	23	24	24	25	24	270	291	
時間数合計 (A+B+C)	264.0	230.5	272.5	281.5	229.5	250.5	253.0	261.0	299.5	310.0	342.0	359.5	3353.5	3445.5	

(注) 知的障害者については新規相談が4件ありましたが、「居宅介護」の受け入れ実績はありません。移動支援サービスでの受け入れ実績はあり(移動支援事業報告参照)。

2. 重度訪問介護

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年
利用者数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	25	24
時間数	重度訪問介護 (移動を伴う)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重度訪問介護 (移動を伴わない)	27.0	24.0	27.0	27.0	27.0	27.0	24.0	27.0	27.0	24.0	24.0	34.0	319.0	294.0
	合計	27.0	24.0	27.0	27.0	27.0	27.0	24.0	27.0	27.0	24.0	24.0	34.0	319.0	294.0

(注) 重度訪問介護は、平成 18 年 10 月より創設されました。

3. 移動支援

移動支援		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
利用者数	身障	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	13	
	知的	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	19	
	精神	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	32	
時間数	身障	3.0	6.0	5.0	3.0	3.0	3.5	3.0	4.0	9.5	1.5	1.5	1.5	44.5	168%
	知的	7.0	1.5	7.5	3.5	5.0	7.0	11.0	12.0	10.0	7.0	12.0	12.0	95.5	262%
	精神	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	合計	10.0	7.5	12.5	6.5	8.0	10.5	14.0	16.0	19.5	8.5	13.5	13.5	140.0	222%

(注) 移動支援事業は、平成 18 年 10 月より開始されました。21 年度に新たに「知的」の実績が加わりましたが、「精神」の実績はまだありません。前年比の「精神」欄は前年度実績がないため表示されません。

XIV 生活安定応援事業●立川市受託事業

一定の所得以下の方の生活安定に向けた緊急総合対策として、生活相談に応じるとともに、就職の支援や各種資金の貸付を行っています(平成 20 年 9 月より窓口開設)。

- 組織体制【総務係】職員(兼務)2名、月額嘱託(兼務)6名
- 事業執行経費 約8,000千円

1. 生活安定応援事業

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)就職チャレンジ支援事業	○相談 256 件／支援 43 件	<p>◆生活安定応援事業全体としては 542 件の問い合わせ・相談がありました。割合としては就職チャレンジ・チャレンジ支援ともほぼ同数となっています。</p> <p>◆チャレンジ支援貸付については人口に比して依然申請数が少ないため、今以上に広報を強化していく必要があります。</p>
(2)その他職業訓練・講座等の紹介	○相談 14 件	
(3)生活サポート特別貸付事業	○相談 17 件／貸付 8 件 1,390,000 円	
(4)チャレンジ支援貸付事業	○相談 255 件／貸付 47 件(塾代: 中学 26 件、高校 21 件) 7,432,000 円 ／貸付 25 件(受験料代: 高校 25 件) 2,187,000 円	

XV 住宅手当緊急特別措置事業●立川市受託事業

離職により、住宅を喪失またはそのおそれのある市民で常用就職の意欲のある方を対象に、住宅手当を支給し、住宅や就労の確保に向けた支援を行うことを目的とした事業をハローワークや立川市と連携を蜜にとりながら実施します。

- 組織体制【総務係】職員(兼務)2名、月額嘱託(兼務)6名
- 事業執行経費 約8,000千円

1. 住宅手当緊急特別措置事業

事業名等	内容	評価等
(1)住宅手当	○相談 763 件／申請 90 件 (住居喪失 29 件、住居喪失のおそれあり 61 件)	<p>◆第2のセーフティネットとして、昨年 10 月下旬から開始した本事業ですが、開始から約5ヵ月で763件の相談がありました。これからも社協として、新たな生活課題に取り組む事業と位置づけて実施していきます。</p> <p>◆平成 23 年度までの時限事業の予定です。</p>

■特別会計事業

I 歳末たすけあい運動事業

地域福祉活動の推進を図るため、関係機関との連携や地域自治会の協力により、共同募金運動の一環として、歳末たすけあい運動を実施しました。

- 組織体制【総務係】職員(兼務)5名、月額嘱託(兼務)7名
- 事業執行経費 約280千円

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)歳末たすけあい運動	○実施期間 平成21年12月1日～31日 ○協力自治会数137件／協力団体・個人数28件 ○募金額 6,774,415円(前年比95.2%)	◆歳末たすけあい運動および赤い羽根募金で協力いただいた募金については、翌年度、その一部を地域福祉活動費として配分されます。

II 奨学金事業

離職者世帯を対象とした奨学金の貸付を行っています。

- 組織体制【総務係】職員(兼務)2名、月額嘱託(兼務)6名
- 事業執行経費 約60千円

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)奨学金(離職者支援)の貸付	○相談4件／貸付1件 840,000円	◆今年度は離職に伴う奨学金の貸付が1件ありました。就職チャレンジ支援事業とともに今後相談が増えるものと思われます。

III 収益事業

法人の経営基盤の強化に努めるため、公共施設等に自動販売機を設置して収益事業を行いました。

- 組織体制【総務係】職員(兼務)2名
- 事業執行経費 約30千円

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)自動販売機の設置	総合福祉センターをはじめ、市内の公共施設9カ所、計10台の自動販売機を設置 ○売上額 3,303,720円(前年比96.9%) ※一般会計に2,367,000円繰り入れました	

■共同募金会立川地区協力会事業

I 赤い羽根共同募金運動事業

東京都共同募金会立川地区協力会として、民間福祉事業の振興を図るため、地域自治会等の協力により、赤い羽根共同募金運動を実施しました。

- 組織体制【総務係】職員(兼務)5名、月額嘱託(兼務)7名
- 事業執行経費 約280千円

事業名等	実績(実施日など)	評価等
(1)赤い羽根共同募金運動	○実施期間 平成21年10月1日～31日 ○協力自治会数 142件／協力団体・個人数 9件 ○募金額 4,738,980円(前年比92.8%)	◆共同募金会では共同募金の配分システムの見直しを検討しているため、地域での配分委員会の設置の準備が必要となっています。